

県立病院を良くする会 次第

日 時 平成22年8月2日(月)
午後3時から
場 所 徳島県庁10階 大会議室

1 開 会

2 議 事

- (1) 第二次経営健全化計画の実施状況について (資料1・2)
- (2) 病院事業を取り巻く動向について (資料3・4)

3 閉 会

- 【配付資料】
- 資料1 徳島県病院事業第二次経営健全化計画の実施状況について
 - 資料2 徳島県病院事業第二次経営健全化計画 ー平成21年度の進捗状況について
 - 資料3 徳島県地域医療再生計画における県立病院事業
 - 資料4 県立三好病院の耐震化について

県立病院を良くする会委員名簿

(50音順、敬称略)

氏 名		現 職 等
	石 本 知恵子	地域医療を守る会 副会長
	伊 丹 一 夫	三好病院を応援する会 会長
	苛 原 稔	徳島大学病院 院長
	片 山 悦 子	(特非) 徳島県消費者協会 会長
副会長	谷 田 一 久	(株) ホスピタルマネジメント研究所 代表
会 長	中 村 昌 宏	徳島文理大学 総合政策学部長
	山 上 敦 子	(社) 徳島県医師会 常任理事
	森 山 節 子	(社) 徳島県看護協会 監事

平成22年度 第1回 県立病院を良くする会



徳島県病院事業第二次経営健全化 計画の実施状況について

平成21年度 病院事業会計 総収支

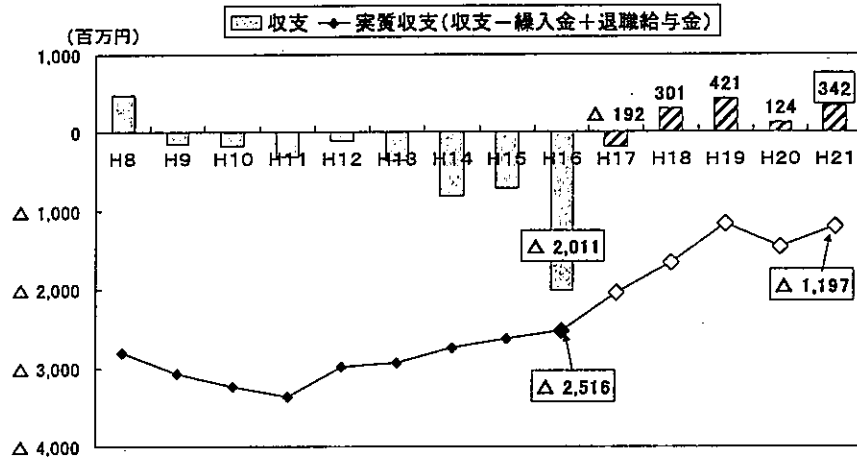
○平成21年度 総収支

中 央 病 院	456,245,578
三 好 病 院	52,032,302
海 部 病 院	△ 14,223,541
本 局	△ 152,508,993
計	341,545,346 円

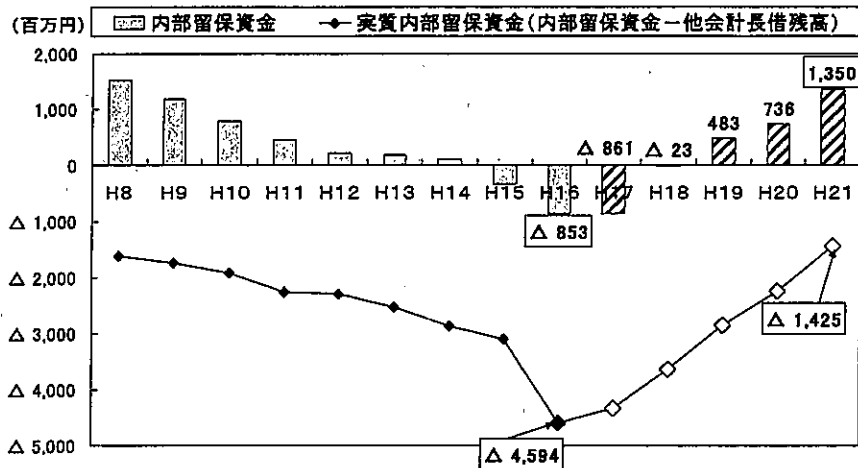
平成18年度から4年連続の黒字化を実現。
(4年連続黒字はS52～S55以来29年ぶり)

(平成21年度末累積欠損金
△8,963,939,224円)

収支改善の推移



内部留保資金改善の推移



健全化計画 収支計画との比較

(単位:百万円)

区分		H21決算額 A	H21計画額 B	A-B
総収益	医業収益	14,596	14,675	△ 79
	医業外収益	1,708	1,604	104
	総収益 計	16,304	16,279	25
	(うち繰入金)	2,344	2,231	113
総費用	医業費用	15,440	15,528	△ 88
	(うち給与費)	8,795	8,649	146
	<うち退職引当金>	145	0	145
	医業外費用	518	405	113
	特別損失	4	0	4
	総費用 計	15,962	15,933	29
【純損益】		342	346	△ 4
【内部留保資金残高】		1,350	734	616

県立病院を良くする会設置要綱

第2条 良くする会は、病院事業の次に掲げる事項について、必要な提言を行う。

- (1) 徳島県病院事業経営健全化計画の達成状況の評価及び見直し
- (2) その他県立病院の基本理念の実現に必要な事項

徳島県病院事業第二次経営健全化計画

5 進行管理

(1) 公表

計画の実施状況を概ね年1回以上、点検評価し、公表する。

(2) 客観性の確保

学識経験者等で構成する「県立病院を良くする会」に諮り、評価の客観性を確保する。

(3) 見直し

公立病院改革ガイドラインによる再編・ネットワーク部分については、徳島県地域医療対策協議会等の検討に合わせ、また、「総合メディカルゾーン構想」に係る具体的な機能連携については、徳島大学病院との協議状況に応じ、随時変更し「進化する計画」として見直しを図る。

第二次経営健全化計画の評価について

1. 評価の考え方

徳島県病院事業第二次経営健全化計画で定めた経営指標，具体的取り組みの進行状況を評価するものとする。

2. 評価方法

第二次経営健全化計画で定めた目標，取り組み内容について，進行度の自己評価を下記の基準で行い，各委員により再評価していただく。

3. 進行度の評価基準

- A：さらに上位レベルの目標設定が可能
- B：取り組みは進んでおり，ほぼ計画を達成できる見込みがある
- C：検討しているが，取り組みが進んでいるとまでは言えない
- D：取り組みは遅れているが，今後着手する見通しがある
- E：環境変化等により計画内容の変更が必要

進行度の自己評価(質の確保)①

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
1	がん診療		B	D	B
2	脳卒中及び急性心筋梗塞診療		B	C	B
3	糖尿病診療		B	C	B
4	高度医療の充実		B	B	B
5	急性期医療機能の充実に向けた看護師の増員	B	C	C	
6	医師確保機能の強化	B	B	C	B
7	医師の安定確保に向けた条件整備	B	B	B	B
8	新たな政策医療等の実施に向けた任用制度の検討	C			
9	コメディカル職員等の独自採用やスペシャリストの育成	C			
10	今後の医療の質の向上に資する専門職種の適正な確保	B	C	B	C
11	医療の質を示す臨床指標(クリニカル・インディケーター)の設定		B	D	B
12	患者さん中心のチーム医療の実践		B	B	B
13	患者さんのQOL(生活の質)を高める，各職種による指導・活動の推進		B	B	B
14	患者さんとの人間関係を重視する取り組みの推進		B	B	B

進行度の自己評価(質の確保)②

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
15	病院ボランティアの充実		C	D	B
16	患者さんの視点に立ったサービスの提供		B	B	B
17	治療効果を高め、満足していただける食事の提供		B	B	B
18	「新中央病院における療養環境整備」・ 「三好病院及び海部病院における療養環境の充実」		B	B	B
19	各種病院サービスにおける利便性の向上		B	C	C
20	「県立病院の医療機能を最大限に発揮する、継ぎ目のない連携体制構築」・「連携による在宅療養支援機能の発揮」		C	C	B
21	医療の標準化に資するクリティカルパス(入院診療計画)の活用促進		B	C	B
22	医療安全文化の確立		C	B	B
23	病院機能評価の更新受賞		A	B	B
24	品質管理のための教育・研修の充実		B	B	B
25	「中央病院を中心とした臨床研修医の育成」・ 「三好病院・海部病院での地域医療研修の実施」		B	B	B

進行度の自己評価(質の確保)③

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
26	中央病院における徳島大学病院・県医師会との協力による指導医の育成		A		
27	中央病院における学生実習の充実		B		
28	中央病院における、都道府県がん診療連携拠点病院としての、県内医療従事者への研修・啓発		B		
29	中央病院における、地域医療支援病院としての、地域医療機関等との共同研修		B		
30	中央病院における医薬品臨床試験業務(治験)の充実		B		
31	質の高い看護の提供を目指した、キャリアラダーによる研修の実施		B	B	B
32	各職種の専門性を高める資格取得や研修受講の促進	B	B	B	B
33	県立病院学会の実施による知識の向上と共有	B	B	B	B
34	先進病院に対する派遣研修の実施	B	B	B	C
35	育児と仕事の両立支援	B	B	B	B

進行度の自己評価(透明性の確保)

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
1	DPC(診断群分類別包括評価制度)の導入による医療の透明性の向上		B	D	B
2	県立病院の医療の質や提供状況がわかる臨床指標の公開(再掲)		B	D	B
3	患者さんと一体となった医療を実践する「私のカルテ」の発行		B	B	B
4	病院事業経営内容の公開	B	B	A	B
5	各県立病院毎の「住民参加会議」の開催		B	A	B
6	県民公開講座及び院内健康教室の開催		B	B	B
7	病院広報の充実	B	B	B	B

進行度の自己評価(効率性の確保)①

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
1	安定した内部留保の確保	B			
2	各病院の機能整備の動向に即した施設基準の取得		B	B	B
3	地域連携・機能分担の実情に応じた新規患者の受入		B	C	
4	診療報酬請求遅れの防止		B	B	B
5	使用料・手数料設定の見直し		B	D	B
6	一般会計繰入金金の定期的見直しと透明性の向上	B			
7	後発医薬品の採用拡大		B	B	B
8	委託契約・賃借契約における効率的な契約の実施	B	B	B	B
9	医療器械購入における競争入札の推進	A	B	B	B
10	ホテルサービス部門及び事務・管理業務等の委託化	B	B	B	C
11	未収金の発生防止と回収促進	B	B	C	B
12	業務改善の手段としての情報化の推進		B	B	B

進行度の自己評価(効率性の確保)②

推進項目	推進事業名	本局	中央	三好	海部
13	地方公営企業法全部適用による効果の最大限の発揮	B			
14	経営戦略会議の充実	C	B	A	B
15	幹部職員の経営管理力の向上		B	C	B
16	DPC(診断群分類別包括評価)データ活用による経営分析の実施	C	B	D	B
17	目標設定とPDCAサイクルによる進行管理の推進		B	A	B
18	全部門による実績報告・目標発表会の実施		C	A	B
19	堅実な危機管理体制の構築	B	B	B	B
20	3病院及び病院局本局の一体的運営	B			
21	3病院の診療面の連携・協調		B	B	B
22	資産等購入における共同化の拡充	B	C	B	B
23	経営指標	B	B	B	B

進行度の評価集計表

	A	B	C	D	E	計
本局	1	20	4	0	0	25
	4%	80%	16%	0%	0%	100%
中央病院	2	50	7	0	0	59
	3%	85%	12%	0%	0%	100%
三好病院	5	32	10	7	0	54
	9%	59%	19%	13%	0%	100%
海部病院	0	48	4	0	0	52
	0%	92%	8%	0%	0%	100%
計	8	150	25	7	0	190
	4%	79%	13%	4%	0%	100%

進行度評価の良い事例①

医療の質の確保: 海部病院

経費項目 17	治療効果を高め、満足していただける食事の提供	所管部局	海部病院			
内 容	管理栄養士と調理師が病棟を訪問して摂食状況を調査するなどにより患者さんの食事の状況を把握し、全部食べていただける食事の提供に努めます。 また、行事食や祝い膳の充実とともに季節感を感じていただける工夫を行い、おいしく食べていただけるよう努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○摂食状況の調査		実施	推進	推進	推進	推進
○行事食や祝い膳の充実		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	摂食状況の調査については、昼食時の病棟訪問を延べ740件実施、昼食後の個別残食調査を72回実施した。調査により、患者さんの食事の状況を把握し、個別対応することによって喫食率の向上に努めた。 行事食や祝い膳の充実については、郷土食や季節感を取り入れ、年間21回の行事食を実施したり、月2回の手作りおやつサービスも定着させた。 今後も、治療効果を高め、患者さんに満足していただける食事の提供に努めたい。					
	進行度の評価	B				

進行度評価の良い事例②

医療の質の確保: 中央病院

経組 23	病院機能評価の更新受審	所管部局	中央病院			
内 容	各病院の機能を第三者が多角的に評価する、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価については、既に全病院が受審し認定を受けておりますが、さらに新たな評価項目が加わった Ver. 6. 0 による再認定を受けるため、各病院が組織的に基準達成に向けた取り組みを行います。 [目標項目] → [医療の透明性の確保]					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○病院機能評価の更新受審 【平成21年度】		実施				
平成21年度の 主な推進状況	H21年11月25日から27日に、Ver. 6. 0による再認定を受審した。H22年6月に認定証が届く。					
	進行度の評価	A				

進行度評価の良い事例③

医療の透明性の確保: 中央病院

課題 3	患者さんと一体となった医療を実践する「私のカルテ」の発行	所管部局	中央病院			
内 容	患者さんの理解を助け、また、他の医療機関受診時の診療情報の共有にも役立てていただくため、医師診療録・看護記録・検査結果などを「私のカルテ」として発行することに取り組みます。【目標項目】					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「私のカルテ」の発行 【平成21年度】		実施	検討	検討	検討	検討
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度に小児科にて実施しており、前年 11 月から現在まで約・308 件、発行している。引き続き、掲載内容や発行診療科について検討を進める。					
	進行度の評価	B				

進行度評価の良い事例④

医療の透明性の確保: 三好病院

課題 5	各県立病院毎の「住民参加会議」の開催	所管部局	三好病院			
内 容	医師の疲弊と離職を防ぐため、各病院で開催される経営戦略会議等に、地域住民によって設立された団体等の代表者が参加する「住民参加会議」を引き続き開催し、県立病院の現状を明らかにするとともに、地域医療を共に考え、共に支えていただけるような関係づくりを行います。 また、地域団体の研修会等に積極的に出向き、病院運営の現状を説明します。 【目標項目】					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○経営戦略会議への住民参加 【各病院】継続して実施		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	経営戦略会議への住民代表の参加及び地域住民の研修会に出席することにより三好病院の現状を理解していただくとともに病院に対する率直な意見をいただき医療の透明性の確保に努めている。					
	進行度の評価	A				

進行度評価の良い事例⑤

医療の効率性の確保:三好病院

課題 17	目標設定とPDCAサイクルによる進行管理の推進	所管部局	三好病院			
内 容	各課・各診療科・各部門等において明確に目標を設定し、PDCAサイクルによる進行管理に努めるとともに、QC（クオリティ・コントロール：品質管理）活動やBSC（バランス・スコアカード：多面的な業績評価システム）の浸透を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○各課・各診療科・各部門等における目標設定		実施	推進	推進	推進	推進
○PDCAサイクルによる進行管理		実施	推進	推進	推進	推進
○QC活動　やBSCの浸透		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	各部門ごとに目標を設定し、PDCAサイクルによる進行管理を行うことにより各業務の品質管理を徹底し、医療の効率性の確保に努めている。					
	進行度の評価	A				

進行度評価の悪い事例①

医療の質の確保:海部病院

課題 19	各種病院サービスにおける利便性の向上	所管部局	海部病院			
内 容	病院を利用される方の利便性の向上に向けて、サービスの導入や充実を検討します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○売店については、コンビニエンスストアの導入や、営業時間の延長・品揃えの充実を検討する ○会計待ち時間短縮を図るための自動精算機の導入と診療費用のクレジットカードによる支払い、及びコンビニエンスストアでの支払いなどの実施について検討する		検討	検討	検討	検討	実施
		検討	検討	検討	検討	検討
平成21年度の 主な推進状況	入院・外来患者数の動向を踏まえ、今後、売店の営業時間や品揃えの充実、診療費用の支払い方法等について、検討していきたい。					
	進行度の評価	C				

進行度評価の悪い事例②

医療の透明性の確保：三好病院

課題 1	DPC（診断群分類包括評価制度）の導入による医療の透明性の向上	所管部局	三好病院			
内 容	DPCの導入により明らかになるMDC（主要診断群）別の患者数の他、傷病・診療行為（手術・処置等）のデータを解析し、各病院の入院診療に係る実績として公開に取り組みます。【目標項目】					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
ODPCの導入【平成23年度】 ODPC解析データの公開		検討 検討	実施 実施	実施 実施	推進 推進	推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度においては、電子カルテシステムの本稼働から間もなく、DPC導入の影響評価に係る調査への新規参加ができなかった。 （平成22年度においては、DPC導入の影響評価に係る調査への新規参加をすることにより、平成24年度からDPC対象病院としてDPCによる診療報酬の請求ができるようにする。）					
	進行度の評価	D				

医療の質の確保

(1) 7:1看護の実施(推進項目5)

	平成21年度取り組み状況	目標	進行度の評価
中央	7:1入院基本料施設基準獲得プロジェクトチームを立ち上げ、看護師増員を計画したが、計画通りの採用はできなかった。	平成24年度	C
三好	25年度までの前倒し取得をめざし、看護必要度等の検討を行った。	平成26年度	C

(2) 薬剤管理指導(推進項目13)

	薬剤管理指導件数	目標件数(平成25年度)	達成率	進行度の評価
中央	3,867	7,000	55.2	(B)
三好	2,749	3,000	91.6	(B)
海部	1,386	2,400	57.8	(B)

医療の質の確保

(3) 栄養管理指導(推進項目13)

	栄養管理指導件数	目標件数(平成25年度)	達成率	進行度の評価
中央	1,009	845	119.4	(B)
三好	316	500	63.2	(B)
海部	130	180	72.2	(B)

(4) 検査手帳の作成及びレントゲン手帳の運用(推進項目13)

	平成21年度取り組み状況	目標	進行度の評価
中央	ワークグループを立ち上げて内容を検討、 タイムスケジュールを作成した。 平成22年度実施予定。	平成22年度より実施	(B)

医療の質の確保

(5) 地域医療支援病院(推進項目20)

	地域医療支援病院の名称使用承認	紹介率	目標値(平成25年度)	逆紹介率	目標値(平成25年度)	進行度の評価
中央	平成17年度に取得	73.5	80.0	70.9	70.0	B
三好	平成25年度取得を目標	25.6	60.0	35.8	30.0	B

(6) 初期及び後期臨床研修医数(推進項目25)

	平成21年度取り組み状況	21年度実績数	目標値	進行度の評価
中央	平成21年度は、初期及び後期臨床研修医 数34名を受け入れ、魅力ある研修プログラ ムの作成を推進した。	34	60	B

医療の質の確保

(7)臨床研修指導医(推進項目26)

	平成21年度取り組み状況	21年度実績数	目標値	進行度の評価
中央	平成21年度は、10名の医師が講習会等に参加した。	50	45	A

(8)認定看護師(推進項目32)

	平成21年度取り組み状況	21年度実績数	目標値	進行度の評価
病院事業全体 (3病院)	救急看護と感染管理の2分野で認定看護師の養成機関へ各1名の看護師を派遣し、研修を終了した。平成21度末時点で合計6名(中央4名、三好1名、海部1名)。	6	12	B

医療の透明性の確保

(1)DPC対象病院への移行(推進項目1)

	平成21年度取り組み状況	目標	進行度の評価
中央	平成18年度5月に移行		B
三好	DPC導入の影響評価に係る調査への新規参加ができなかった。	平成23年度	D
海部	平成21年度7月に移行	平成21年度	B

(2)臨床指標のホームページ公開(推進項目2)

	平成21年度取り組み状況	目標	進行度の評価
中央	平成21年度より実施	平成21年度	B
三好	取り組めていない	平成21年度	D
海部	平成21年度より実施	平成21年度	B

医療の透明性の確保

(3) 病院機能評価(推進項目23)

	病院機能評価の更新受審	目標	進行度の評価
中央	平成21年度に更新受審	平成21年度に更新受審	A
三好	研修に幹部職員を派遣し、また、更新受審対策の委員会を開催し、啓発等に努めた。	平成22年度	B
海部	病院機能評価認定推進委員会において平成18年度審査時の指摘事項等に関して、各部署での点検作業を依頼し、点検を行った。	平成24年度	B

(4) 「私のカルテ」の発行(推進項目3)

	平成21年度取り組み状況	目標	進行度の評価
中央	平成21年度より発行	平成21年度	B
三好	平成21年度より前倒しして発行	平成22年度	B
海部	平成21年度より前倒しして発行	平成22年度	B

医療の透明性の確保

(5) 経営戦略会議への住民参加(推進項目5)

	平成21年度取り組み状況	目標	進行度の評価
中央	継続して実施	継続して実施	B
三好	毎月継続して実施	継続して実施	A
海部	毎月継続して実施	継続して実施	B

(6) 県民公開講座の開催(推進項目6)

	平成21年度取り組み状況	目標回数	進行度の評価
中央	年間2回開催	「年間2回」の開催	B

(7) 院内健康教室の開催(推進項目6)

	平成21年度取り組み状況	目標回数	進行度の評価
三好	毎月1回「糖尿病教室」を開催	「毎月2回」の開催	B
海部	「生活習慣病教室」を毎月4回、「公開研修会」を年間6回開催	「毎月2回」の開催	B

医療の効率性の確保

(1) 経常収支比率(推進項目23)

	平成21年度実績値	目標値(平成23年度)	進行度の評価
中央	103.6	101.0	B
三好	100.2	99.0	B
海部	97.9	97.3	B

(2) 病床利用率(精神病床を除く)(推進項目23)

	平成21年度実績値	目標値(平成23年度)	進行度の評価
中央	78.2	81.0	B
三好	78.4	82.0	B
海部	54.8	70.0	B

医療の効率性の確保

(3) 職員給与費対医療収支比率(推進項目23)

	平成21年度実績値	目標値(平成23年度)	進行度の評価
中央	57.2	57.5	B
三好	58.3	58.0	B
海部	68.1	70.6	B

(4) 一般病床平均在院日数(推進項目3)

	平成21年度実績数	目標日数(平成25年度)	進行度の評価
中央	13.4	13.0	B
三好	19.2	18.0	B

(5) 後発医薬品購入額割合(推進項目7)

	平成21年度実績	目標値(平成25年度)	進行度の評価
中央	8.4	10.0	B
三好	1.2	10.0	B
海部	6.6	10.0	B

徳島県病院事業第二次経営健全化計画

平成21年度の進捗状況について

目次

進行度の評価一覧表	2 頁
-----------	-----

病院局本局分	6 頁
--------	-----

中央病院分	2 0 頁
-------	-------

三好病院分	5 2 頁
-------	-------

海部病院分	8 1 頁
-------	-------

●医療の質の確保における進行度の評価

項目番号	推進事業名	病院局	中央病院	三好病院	海部病院
推進項目 1	がん診療		B	D	B
推進項目 2	脳卒中及び急性心筋梗塞診療		B	C	B
推進項目 3	糖尿病診療		B	C	B
推進項目 4	高度医療の充実		B	B	B
推進項目 5	急性期医療機能の充実に向けた看護師の増員	B	C	C	
推進項目 6	医師確保機能の強化	B	B	C	B
推進項目 7	医師の安定確保に向けた条件整備	B	B	B	B
推進項目 8	新たな政策医療等の実施に向けた任用制度の検討	C			
推進項目 9	コメディカル職員等の独自採用やスペシャリストの育成	C			
推進項目 10	今後の医療の質の向上に資する専門職種の適正な確保	B	C	B	C
推進項目 11	医療の質を示す臨床指標（クリニカル・インディケーター）の設定		B	D	B
推進項目 12	患者さん中心のチーム医療の実践		B	B	B
推進項目 13	患者さんのQOL（生活の質）を高める，各職種による指導・活動の推進		B	B	B
推進項目 14	患者さんとの人間関係を重視する取り組みの推進		B	B	B
推進項目 15	病院ボランティアの充実		C	D	B
推進項目 16	患者さんの視点に立ったサービスの提供		B	B	B
推進項目 17	治療効果を高め，満足していただける食事の提供		B	B	B
推進項目 18	「新中央病院における療養環境整備」・「三好病院及び海部病院における療養環境の充実」		B	B	B
推進項目 19	各種病院サービスにおける利便性の向上		B	C	C
推進項目 20	「県立病院の医療機能を最大限に発揮する，継ぎ目のない連携体制構築」・「連携による在宅療養支援機能の発揮」		C	C	B
推進項目 21	医療の標準化に資するクリティカルパス（入院診療計画）の活用促進		B	C	B

推進項目 22	医療安全文化の確立		C	B	B
推進項目 23	病院機能評価の更新受審		A	B	B
推進項目 24	品質管理のための教育・研修の充実		B	B	B
推進項目 25	「中央病院を中心とした臨床研修医の育成」・「三好病院・海部病院での地域医療研修の実施」		B	B	B
推進項目 26	中央病院における徳島大学病院・県医師会との協力による指導医の育成		A		
推進項目 27	中央病院における学生実習の充実		B		
推進項目 28	中央病院における，都道府県がん診療連携拠点病院としての，県内医療従事者への研修・啓発		B		
推進項目 29	中央病院における，地域医療支援病院としての，地域医療機関等との共同研修		B		
推進項目 30	中央病院における医薬品臨床試験業務（治験）の充実		B		
推進項目 31	質の高い看護の提供を目指した，キャリアラダーによる研修の実施		B	B	B
推進項目 32	各職種の専門性を高める資格取得や研修受講の促進	B	B	B	B
推進項目 33	県立病院学会の実施による知識の向上と共有	B	B	B	B
推進項目 34	先進病院に対する派遣研修の実施	B	B	B	C
推進項目 35	育児と仕事の両立支援	B	B	B	B

●医療の透明性の確保における進行度の評価

項目番号	推進事業名	病院局	中央病院	三好病院	海部病院
推進項目 1	D P C（診断群分類別包括評価制度）の導入による医療の透明性の向上		B	D	B
推進項目 2	県立病院の医療の質や提供状況がわかる臨床指標の公開（再掲）		B	D	B
推進項目 3	患者さんと一体となった医療を実践する「私のカルテ」の発行		B	B	B
推進項目 4	病院事業経営内容の公開	B	B	A	B
推進項目 5	各県立病院毎の「住民参加会議」の開催		B	A	B
推進項目 6	県民公開講座及び院内健康教室の開催		B	B	B
推進項目 7	病院広報の充実	B	B	B	B

●医療の効率性の確保における進行度の剽悍

項目番号	推進事業名	病院局	中央病院	三好病院	海部病院
推進項目 1	安定した内部留保の確保	B			
推進項目 2	各病院の機能整備の動向に即した施設基準の取得		B	B	B
推進項目 3	地域連携・機能分担の実情に応じた新規患者の受入		B	C	
推進項目 4	診療報酬請求漏れの防止		B	B	B
推進項目 5	使用料・手数料設定の見直し		B	D	B
推進項目 6	一般会計繰入金の定期的見直しと透明性の向上	B			
推進項目 7	後発医薬品の採用拡大		B	B	B
推進項目 8	委託契約・賃借契約における効率的な契約の実施	B	B	B	B
推進項目 9	医療器械購入における競争入札の推進	A	B	B	B
推進項目 10	ホテルサービス部門及び事務・管理業務等の委託化	B	B	B	C
推進項目 11	未収金の発生防止と回収促進	B	B	C	B
推進項目 12	業務改善の手段としての情報化の推進		B	B	B
推進項目 13	地方公営企業法全部適用による効果の最大限の発揮	B			
推進項目 14	経営戦略会議の充実	C	B	A	B
推進項目 15	幹部職員の経営管理力の向上		B	C	B
推進項目 16	D P C（診断群分類別包括評価）データ活用による経営分析の実施	C	B	D	B
推進項目 17	目標設定とP D C Aサイクルによる進行管理の推進		B	A	B
推進項目 18	全部門による実績報告・目標発表会の実施		C	A	B
推進項目 19	堅実な危機管理体制の構築	B	B	B	B
推進項目 20	3 病院及び病院局本局の一体的運営	B			
推進項目 21	3 病院の診療面の連携・協調		B	B	B
推進項目 22	資産等購入における共同化の拡充	B	C	B	B
推進項目 23	経営指標	B	B	B	B

病院局本局分

●医療の質の確保における進捗状況

課題 5	急性期医療機能の充実に向けた看護師の増員	所管部局	人事給与担当			
内 容	新中央病院においては、東部Ⅰ保健医療圏における急性期病院として、さらに機能を高めるため、一般病棟入院基本料の 7 : 1 入院基本料施設基準の取得を目ざし、看護師を増員します。[目標項目：平成 24 年度]					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○7 : 1 看護の実施		増員	増員	増員	実施	
平成 21 年度の 主な推進状況	平成 21 年 4 月に職員定数条例が改正され、新中央病院における 7 : 1 入院基本料施設基準の取得を目ざし、看護師の増員を図った。					
	進行度の評価	B				

課題 6	医師確保機能の強化		所管部局	人事給与担当			
内 容	各病院の常勤医師の不足が続く状況においては、病院事業管理者を補佐し、医師確保に係る企画・情報収集・交渉等を行う機能を充実するほか、研修医確保のための企画立案や各病院との調整を図るなど、全組織を挙げた医師確保機能の強化に努めます。						
実 施 概 要			2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○全組織を挙げた医師確保機能の強化			実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	徳島県地域医療再生計画が策定され、徳島大学による寄附講座5講座の設置と県立3病院におけるフィールドワークとしての診療の平成22年度からの実施が盛り込まれた。 病院局総務課と各病院とが連携し、医師募集サイトを活用した医師確保に努めた。						
	進行度の評価		B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 7	医師の安定確保に向けた条件整備	所管部局	人事給与担当			
内 容	救急部門における件数増加に伴う医師の過重労働や、病院全体の医師数減少に伴う負担が増加している状況において、医師の負担軽減とモチベーション向上につながる改善を実施することにより、今後の医師の離職防止に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○医師事務作業補助員の効果検証とともに、各補助員の能力向上を図り、積極的に活用		実施	推進	推進	推進	推進
○資格取得や研修等の自己啓発に一定期間集中できる、自己啓発等休業制度の活用が図られるような環境整備に努める		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	医師事務作業補助員を配置し、積極的活用を図った。(診療報酬の施設基準上、中央病院及び海部病院については75：1の配置、三好病院についてはH21年度に増員を図り50：1の配置) 高度医療研修として、医師1名を国際学会に派遣した。					
	進行度の評価	B				

課題 8	新たな政策医療等の実施に向けた任用制度の検討	所管部局	人事給与担当			
内 容	県立病院において、今後5年間ににおける新たに担うべき医療機能の発揮のためには、迅速に職員の資質向上や体制整備を図る必要があるため、任期付職員の任用について検討します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○任期付職員の任用		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	徳島県ドクターバンク制度により採用された任期付職員が平成21年6月に海部病院に着任した。					
	進行度の評価	C				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 9	コメディカル職員等の独自採用やスペシャリストの育成	所管部局	人事給与担当			
内 容	県立病院における技術・能力の組織としての蓄積を図るとともに、特定の専門性を必要とする業務に従事する職員を育成するため、薬剤師等の職種において、病院局独自採用等、スペシャリストの育成を図ります。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○病院局独自採用の実施等スペシャリストの育成		実施	推進	推進	推進	推進
平成 2 1 年度の 主な推進状況	病院局独自の採用として、医師・看護師・理学療法士・臨床工学技士・MSW・診療情報管理士の選考採用に取り組んだ。					
	進行度の評価		B			

課題 10	今後の医療の質の向上に資する専門職種の適正な確保	所管部局	人事給与担当			
内 容	地域医療連携の推進にあたり、重要な役割を果たすMSW（メディカルソーシャルワーカー）・精神保健福祉士（PSW）、医療機器の安全管理の向上を図るための臨床工学技士について、適正な確保を図ります。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○MSWの確保		実施	推進	推進	推進	推進
○精神保健福祉士（PSW）の確保		推進	推進	推進	推進	推進
○臨床工学技士の確保		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	MSW 1 名（三好病院配置）、臨床工学技士 3 名（中央病院配置）の選考採用に取り組んだ。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 32	各職種の専門性を高める資格取得や研修受講の促進	所管部局	人事給与担当			
内 容	各県立病院がそれぞれの担うべき機能に応じ研修方針・研修計画を策定し、各職種の資格取得を推進するとともに、取得後の技術・ノウハウ活用を図ります。 [目標項目]					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○資格取得を推進 認定看護師数 【平成25年度】 病院事業全体で12名 ○資格取得後の技術・ノウハウの活用		6名 実 施	8名 推 進	10名 推 進	12名 推 進	12名 推 進
平成21年度の 主な推進状況	救急看護と感染管理の2分野で認定看護師の養成機関へ各1名の看護師を派遣し、研修を終了した。(H22.3.31 現在、認定看護師6名)					
	進行度の評価	B				

推進期 33	県立病院学会の実施による知識の向上と共有		所管部局	人事給与担当		
内 容	各県立病院職員が一堂に会して日頃の研究成果を発表する「県立病院学会」を引き続き開催し、職員の相互交流と知識の向上・共有を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「県立病院学会」の開催		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	2月20日、阿波銀ホールにおいて、第4回「県立病院学会」を開催し、約160名が参加した。3病院からは11演題が発表された。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 34	先進病院に対する派遣研修の実施	所管部局	人事給与担当			
内 容	県立病院の核となる医療機能の発揮に向けて、救急医療・がん医療などにおける先進病院への派遣研修を実施します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○先進病院への派遣研修の実施		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	薬剤師1名を「がん専門薬剤師養成研修」へ派遣した。また、看護師4名を、認定看護師の養成機関や、がん及び糖尿病の分野における質の高い看護技術を習得するため、先進病院で臨地実習を行う養成研修へ派遣した。					
	進行度の評価	B				

課題 35	育児と仕事の両立支援	所管部局	人事給与担当			
内 容	育児短時間勤務制度の活用など、職員の育児と仕事の両立を図ることのできる環境整備に努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○育児短時間勤務制度の活用等		実施	推進	推進	推進	推進
平成 2 1 年度の 主な推進状況	育児休業取得者のべ 7 3 名、小学校就学前の子を持つ職員の深夜勤務制限適用者のべ 3 7 名。 県庁全体の計画として、「徳島県特定事業主行動計画（後期計画）」の策定に取り組んだ。					
	進行度の評価	B				

●医療の透明性の確保における進捗状況

課題 4	病院事業経営内容の公開	所管部局	予算企画担当・経営戦略担当			
内 容	病院事業の決算内容や医療の質・透明性・効率性の向上に向けた取り組み内容について、今後も引き続き、ホームページを活用して積極的に公開します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○決算内容や取り組み内容についてのホームページ公開		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成20年度の病院事業の決算内容については、ホームページで公開した。また、医療の質・透明性・効率性の向上に向けた取り組み内容の1つとして、平成21年度から病院局経営戦略会議の議題に加えて、新たに議事録をホームページで公開した。					
	進行度の評価	B				

課題 7	病院広報の充実	所管部局	政策調整担当			
内 容	病院局及び各病院のホームページを充実し、患者さんには地域医療連携の重要性や必要性等、医療についてわかりやすく説明するとともに、病院の姿が実感できる、親しみやすい情報の提供に努めます。 また、他の医療機関、将来医療を志す方等に向けては、診療機能や臨床研修に関する情報提供を充実します。 さらに、各病院広報誌や各自治体広報誌を通じた情報提供も積極的に実施します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○ホームページの充実 ○各病院広報誌や各自治体広報誌を通じた情報提供		実 施 実 施	推 進 推 進	推 進 推 進	推 進 推 進	推 進 推 進
平成21年度の 主な推進状況	・病院局ホームページのリニューアルを行った。 ・他の取り組みとしては、ホームページでの臨床研修医募集の有料広告や、看護師及び臨床研修医募集パンフレットを作成した。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 1	安定した内部留保の確保	所管部局	予算企画担当			
内 容	計画期間中の安定した経営基盤の確立のためには、内部留保（流出を伴わず留保される資金）の確保が重要であり、各病院の毎年度の収支上における償却前利益計上が要となります。 病院事業としては、県立 3 病院の置かれている経営状況を一体的に捉え、単体における経営資源の不足や非効率性を、診療支援や各種の共同化等で補いながら、全体としての不良債務の発生防止に努めます。 (単位：百万円)					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○県立 3 病院の置かれている経営状況を一体的に捉えた内部留保の確保 ※()内計画		1,350 (734)	(1,048)	(892)	(529)	(348)
平成 2 1 年度の 主な推進状況	健全化計画の収支計画と比較すると、収支は計画が 346 百万円の純利益を見込んでいたが、実績では 342 百万円の純利益となりほぼ計画値を達成。 資金では、計画が 734 百万円の内部留保を見込んでいたが、実績では 1,350 百万円の内部留保となり、計画値を大きく上回った。 なお、収支には 145 百万円の退職給与引当を含んでいる。					
	進行度の評価	B				

課題 6	一般会計繰入金の定期的見直しと透明性の向上	所管部局	予算企画担当			
内 容	一般会計繰入金については、計画期間における新たな政策医療の実施に応じ、定期的に見直しを図ります。 また、繰入金の内容について、わかりやすい公表に努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○定期的な見直しの実施		項目追加	見直し			見直し
○繰入金の内容についてのわかりやすい公表		総額公表	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	平成 21 年度は、総務省の「繰出基準」改訂を受け、医師確保対策に要する経費（初任給調整手当）、不採算地区病院の運営にに要する経費（海部病院）を新たに繰り出し項目に追加。 平成 10 年度から平成 20 年度の収益的収入の繰入総額及び決算内容等について、病院局ホームページで公表。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 8	委託契約・賃借契約における効率的な契約の実施	所管部局	予算企画担当						
内 容	各病院における委託契約・賃借契約については、委託業務内容・賃借契約内容と金額のバランスを検証し、効率性と品質管理の両面から見直しに努めます。 また、複数年の継続契約、一括委託契約（複数業務を集約した、包括的な委託契約）、3病院を統一した一括契約等についても、積極的に実施します。								
実 施 概 要		21	22	23	24	25			
○委託契約・賃借契約についての見直し		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進	推 進	推 進	推 進
○複数年の継続契約、一括委託契約の実施		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進	推 進	推 進	推 進
○3病院を統一した一括契約等の実施		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度における委託契約・賃借契約についての見直しについては、主な委託契約の内容比較を3病院で行い、契約額等品質の検証を行った。 複数年の継続契約については、病院事業に適した条例改正を関係課に対して申し入れを行い、今後、条例改正が整えば、対象事業について長期継続契約の拡大に努めたい。また、3病院を統一した一括契約については、職員のユニフォームの取扱等、検討を進めていきたい。								
進行度の評価		B							

推進項目 9	医療器械購入における競争入札の推進		所管部局	予算企画担当		
内 容	一般の医療器械については、今後も特別な理由があるものを除き、競争入札により購入します。 また、高額医療器械については、保守経費も含めた一般競争入札の他、総合評価一般競争入札の実施を検討し、総合的なコスト抑制や品質の確保を図ります。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○一般競争入札、総合評価一般競争入札の実施		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
平成 2 1 年度の 主な推進状況	平成 2 1 年度における一般競争入札の実施としては、基本的に本局で執行することとなる 1 品の予定価格が 1 千万円以上の医療器械等については、すべて競争入札により執行を行った。 今後、中央病院の改築を控え、高額医療器械の執行が増加することから、総合評価一般競争入札等、総合的に評価できる競争入札について検討を行う。					
	進行度の評価	A				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 10	ホテルサービス部門及び事務・管理業務等の委託化	所管部局	人事給与担当 予算企画担当			
内 容	給食・清掃・洗濯等のホテルサービス部門については、職員の転出先にも配慮しつつ、外部委託に積極的に取り組みます。 また、検体検査業務、滅菌材料室、院内施設維持管理、一般事務等についても、引き続き外部委託に取り組みます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○ホテルサービス部門の外部委託		実施	推進	推進	推進	推進
○一般事務等の外部委託		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	H21年4月より中央病院の給食業務を外部委託した。 平成21年度における一般事務等の外部委託としては、長期継続契約に関する条例が活用できる業務については、これを活用する等、品質を維持した上で経費節減に努めた。					
	進行度の評価	B				

課題 11	未収金の発生防止と回収促進	所管部局	予算企画担当				
内 容	患者さんの診療費用については、24時間会計の実施や支払い相談の充実等により、未収金の発生防止に努めます。 また、未収金が発生した場合には、速やかに支払い督促を実施し、納入指導の徹底により、回収不能債権の発生防止に努めます。						
実 施 概 要		21	22	23	24	25	
○24時間会計の実施		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進	
○支払い相談の充実		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進	
○速やかな納入指導の徹底		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進	
平成21年度の 主な推進状況	・中央病院において24時間会計を実施（H21.4～）。 ・電話、戸別訪問による督促。督促状の送付。 ・入院患者に対する高額療養費制度等の説明や退院時支払の徹底。 ・悪質な債務者に対しては、支払督促等法的措置を実施。						
	進行度の評価	B					

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 13	地方公営企業法全部適用による効果の最大限の発揮	所管部局	政策調整担当・人事給与担当・予算企画担当			
内 容	病院事業管理者に与えられた人事・予算等の権限を最大限に発揮し、柔軟性に富んだ経営を実施するために、今後も開設者との相互理解・相互信頼の下で緊密な連携に努めます。 また、その一つの施策として、「医療の確保と健全化をすすめる会」を定期的に開催します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○柔軟性に富んだ経営を実施 ○「医療の確保と健全化をすすめる会」の定期的な開催		実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成21年度の 主な推進状況		- 一般会計の負担を伴わない支出項目については、病院局が主体性を持って予算編成、予算執行を行うなど、経営環境の変化に対し、予算面で迅速に適切な対応をとった。 - 看護師の年度途中の欠員等を迅速に補充するため、通常の採用に加え、7月・10月の2回の採用試験を行った。 - 開設者である知事との緊密な連携を行うため、「医療の確保と健全化をすすめる会」を平成21年10月に開催。				
進行度の評価		B				

推進項目 14	経営戦略会議の充実		所管部局	経営戦略担当		
内 容	本局及び各病院で開催している経営戦略会議について、病院局本局職員と各病院の幹部職員が、環境変化に迅速に対応し、戦略的な取り組みを議論する場として、また、各病院職員が経営問題を共有する場として引き続き実施し、内容を充実します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○経営戦略会議の内容の充実		検討	検討・ 実施	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度についても、本局と各病院間の情報共有を深め、戦略的な取り組みを議論する場として、病院局経営戦略会議を引き続き毎月1回開催した。 議題のマンネリ化等の課題があるので、経営戦略会議のあり方を見直し、会議内容の充実を図る必要がある。					
	進行度の評価	C				

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 16	D P C（診断群分類別包括評価）データ活用による経営分析の実施	所管部局	政策調整担当			
内 容	D P Cの運用から得られる自院の診療データ及び厚生労働省から公表される統計データの分析を行い、医療の質の向上・コスト削減・経営戦略策定等に積極的に活用します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○診療データや統計データの分析、活用		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年6月の経営戦略会議において、D P Cデータの活用等についての検討を行った。					
	進行度の評価	C				

推進項目 19	堅実な危機管理体制の構築	所管部局	経営戦略担当			
内 容	各病院職員が救急勉強会，A C L S，B L S，A E D講習会等救急に関する研修を定期的に行い，スキルアップを図ることにより，院内での急変時の対応や災害発生時の患者受け入れ体制を強化します。 また，災害拠点病院である各病院においては，大規模災害や新型インフルエンザ等の災害事象発生を想定した実践的な訓練や研修実施に取り組むとともに，災害対策マニュアルの改訂を行います。 さらに，病院局全体が組織的に迅速な行動が実施できるよう，各病院と病院局本局との連携体制の堅持に努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○災害対策マニュアルの改訂 ○各病院と病院局本局との連携体制の堅持		制定 実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度 主な推進状況	平成22年3月に災害発生時に被災者に十分な医療を提供することを目的として，徳島県病院局災害対策マニュアルを制定した。 マニュアルの制定により，各病院との連携体制の堅持を図り，組織的に迅速な行動が実施できるように努めた。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題項目 20	3 病院及び病院局本局の一体的運営		所管部局	人事給与担当		
内 容	めまぐるしく変化し、厳しさを増す経営環境の中で、地方公営企業法の全部適用という経営形態で基本理念の実現を図るために、病院事業管理者をトップとした組織を、より一体的に運営し、かつ迅速な意思決定と行動が実行できる効率的・機動的な組織づくりを検討します。 また、これまでも実施してきた3病院間の職員の人事交流について、今後も積極的に実施します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○効率的・機動的な組織づくりの検討 ○3病院間の職員の人事交流の積極的な実施		実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	経営戦略会議・局内会議・事務局次長会議において情報共有を図った。 また、年度途中の業務繁忙期に、本局職員が中央病院に常駐して対応したほか、3病院間の人事交流を医師・看護師・事務等で実施した。					
	進行度の評価	B				

課題 22	資産等購入における共同化の拡充	所管部局	予算企画担当			
内 容	各種の器械・材料・消耗品等の購入については、今後も引き続き共同化のメリットを追求し、効率化に努めます。 なお、総合メディカルゾーンの機能連携の一つとして、徳島大学病院との医薬品及び医療材料の共同購入について検討します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○高額医療器械（同種器械の一括入札推進、同一メーカー器械の一括入札検討）		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
○医薬品		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
○医療材料（使用品目の絞り込みと共同購入対象品目数の拡大）		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
○その他（主要給食材料・消耗品・燃料等）		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
○徳島大学病院との医薬品及び医療材料の共同購入についての検討		検 討	検 討	検 討	実 施	推 進
平成 2 1 年度の 主な推進状況	各種器械、材料等については、共同購入による経費削減効果はもちろんのこと、標準化による運用等の統一により、医療安全面においても効果があった。平成 2 1 年度における医薬品については、3 病院が情報を共有することができしくみを構築し、更なる効率化を図ることができた。 今後は、徳島大学との総合メディカルゾーンの機能連携に向けた、材料の共同化の具体策について、検討を進めていきたい。					
	進行度の評価	B				

（変更点）共同購入→共同交渉

（変更理由）21.10 締結の大学病院との協定による文言

●医療の効率性の確保における進捗状況

期 23	経営指標	所管部局	経営戦略担当			
内 容	経営指標のうち経常収支比率・職員給与費対医業収益比率・病床利用率（精神病床を除く）については、公立病院改革ガイドラインの規定により平成23年度を目標値として取り組みます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○経常収支比率 101.0%		102.2%	102.0%	100.1%	94.1%	94.7%
○病床利用率（精神病床を除く）81.0%		79.9%	79.7%	79.7%	81.2%	82.0%
○職員給与費対医業収益比率57.5%		56.9%	56.9%	58.9%	58.2%	57.0%
【平成23年度】		推進	推進	達成	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度の 経常収支比率は、102.2%であり、21年度の目標値である102.2%と同じ実績となり目標達成。 病床利用率は、74.9%であり、21年度の目標値である79.9%を5%下回っており目標未達成。 職員給与費対医業収益比率は、58.4%であり、21年度の目標値である56.9%を1.5%超過しており目標未達成。					
	進行度の評価	B				

中央病院分

●医療の質の確保における進捗状況

課題項目 1	がん診療	所管部局	中央病院			
内 容	都道府県がん診療連携拠点病院である県立中央病院を中心に、手術・化学療法・放射線治療による質の高い治療を実施します。また、がん患者及び家族のQOL向上を図るとともに、病院内のがんに関するデータを把握する「院内がん登録」に取り組みます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○質の高い治療を実施 ○がん患者及び家族のQOL向上 ○「院内がん登録」		実施 実施 実施	推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度は、手術・化学療法(無菌製剤 4,814 件)、放射線治療(ライナック 3,998 件)、院内がん登録(約 877 件)を実施した。 がん患者のQOL向上として、がん相談の窓口を紹介するリーフレットの見直しを行い、がんサロンの情報をホームページに公開した。					
	進行度の評価	B				

変更：H22.3.3 都道府県がん診療連携拠点病院から地域がん診療連携拠点病院に変更。

課題 2	脳卒中及び急性心筋梗塞診療	所管部局	中央病院			
内 容	救急・急性期分野を中心とした治療を実施します。また、地域連携クリティカルパスの運用に取り組み、地域における医療・福祉機関と円滑な連携を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○地域連携クリティカルパスの運用		実施	推進	推進	推進	推進
○地域における医療・福祉機関との円滑な連携		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	脳卒中は県下統一の地域連携パスで運用され、急性心筋梗塞は、県下統一の地域連携パスを試行的に運用した。医療機関間でのパス運用が概ねできてきたので、地域連携パスを在宅・介護(福祉)へと繋げていけるような連携を進めたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題項目 3	糖尿病診療		所管部局	中央病院		
内 容	急性増悪時の治療を実施するとともに、各職種による指導により、患者さんの日常生活・療養面の改善に貢献します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○各職種による指導により、患者さんの日常生活・療養面を改善		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	糖尿病対策支援チームによる教室にて、支援・相談等を定期的に開催し、患者さんの生活指導等についても不定期ながら実施し、日常生活・療養面の改善に努めた。					
	進行度の評価	B				

課題 4	高度医療の充実		所管部局	中央病院			
内 容	高度技術を要する内視鏡医療やインターベンション医療（連続血管撮影装置等を利用した血管内治療法）の積極的推進を図ります。また、高度医療器械を効率的に使用し、地域医療連携として積極的活用を図ります。 <主な高度医療器械> 【中央病院】内視鏡・DSA（連続血管撮影装置）・CT・ライナック・MRI・RI						
実 施 概 要			21	22	23	24	25
○高度医療の積極的推進			実施	推進	推進	推進	推進
○地域医療連携としての積極的活用			実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況		平成21年度は、内視鏡・DSA（連続血管撮影装置、2,484件）・CT（16,325件）・ライナック（4028件）・MRI（4,099件）・RIは、当日検査可能となり、1台体制のMRIは、約2週間待ちである。また、地域医療連携を推進し、紹介率(73.5)、逆紹介率(70.9)となった。					
進行度の評価		B					

●医療の質の確保における進捗状況

課題 5	急性期医療機能の充実に向けた看護師の増員	所管部局	中央病院			
内 容	新中央病院においては、東部Ⅰ保健医療圏における急性期病院として、さらに機能を高めるため、一般病棟入院基本料の 7：1 入院基本料施設基準の取得を目指し、看護師を増員します。〔目標項目：平成 24 年度〕					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○7：1 看護の実施		推進 10:1	推進 10:1	実施 7:1	実施	実施
平成 21 年度の 主な推進状況	7：1 入院基本料施設基準獲得プロジェクトチームで検討し、看護師増員を計画したが、計画通りの採用はできなかった。引き続き努力が必要であり、平成 23 年度には実施できるよう採用者の確保に努める。					
	進行度の評価	C				

課題 6	医師確保機能の強化		所管部局	中央病院			
内 容	各病院の常勤医師の不足が続く状況においては、病院事業管理者を補佐し、医師確保に係る企画・情報収集・交渉等を行う機能を充実するほか、研修医確保のための企画立案や各病院との調整を図るなど、全組織を挙げた医師確保機能の強化に努めます。						
実 施 概 要			2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○全組織を挙げた医師確保機能の強化			実施	推進	推進	推進	推進
平成 2 1 年度の 主な推進状況		平成 2 1 年度は、医師確保のため、インターネットによる募集等を実施した。また、引き続き徳島大学病院の研修プログラムの協力型病院となる一方、当院の基幹型の研修プログラムを新設することにより、選択肢を拡げ、プログラム内容の充実を図った。その他当院単独の臨床研修説明会の開催、あるいは病院見学の受け入れに力を入れることにより、一層の臨床研修医確保に努めた。また、香川大学病院の協力型として 2 年次で 2 名の定員を設ける等、1 人でも多くの研修医が当院で研修を受け、後期臨床研修医として残っていただけるような魅力ある病院になるよう努めている。					
進行度の評価		B					

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 7	医師の安定確保に向けた条件整備	所管部局	中央病院			
内 容	救急部門における件数増加に伴う医師の過重労働や、病院全体の医師数減少に伴う負担が増加している状況において、医師の負担軽減とモチベーション向上につながる改善を実施することにより、今後の医師の離職防止に努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○医師事務作業補助員の効果検証とともに、各補助員の能力向上を図り、積極的に活用 ○医師公舎等の居住環境の改善 ○資格取得や研修等の自己啓発に一定期間集中できる、自己啓発等休業制度の活用が図られるような環境整備に努める ○地域医療を自ら守ろうという趣旨で活動する団体や地元自治体と連携を強め、医師の離職防止を図る		実施	推進	推進	推進	推進
		実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進
		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	医師事務作業補助員の能力向上や、積極的活用のため、講習会等を開く等、医師の負担を軽減すべく改善を進めた。（平成22年度からは3名増員。） 医師公舎等の改修するなど、居住環境の改善に努めた。 資格取得や研修等の自己啓発ができるように努めている。 中央病院経営戦略会議に、住民の代表に参加していただいた。					
進行度の評価		B				

推進項目 10	今後の医療の質の向上に資する専門職種の適正な確保	所管部局	中央病院			
内 容	地域医療連携の推進にあたり、重要な役割を果たすMSW（メディカルソーシャルワーカー）・精神保健福祉士（PSW）、医療機器の安全管理の向上を図るための臨床工学技士について、適正な確保を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○MSWの確保 ○精神保健福祉士（PSW）の確保 ○臨床工学技士の確保		検討 検討 検討	推進 推進 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	地域医療連携のため、MSWやPSW、臨床工学技士の必要性について検討し、適正な確保を図るため増員要求を出した。結果、平成22年度には、臨床工学技士は2倍の6名を配置することができた。					
	進行度の評価	C→B				

●医療の質の確保における進捗状況

議題 11	医療の質を示す臨床指標（クリニカル・インディケーター）の設定	所管部局	中央病院			
内 容	県立病院における診療の結果や治療成績などの実績を適切に評価し、担うべき医療機能への貢献度の測定や、院内での研修方針への活用、また、県民へ情報開示することを目指して、臨床指標設定のためのデータ収集や分析に取り組みます。 [医療の透明性の確保で再掲載]					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○臨床指標設定のためのデータ収集や分析への取組		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	ホームページに臨床指標（クリニカル・インディケーター）を掲示して、担うべき医療機能への貢献度の測定や県民へ情報開示になるようにした。					
	進行度の評価	B				

議題 12	患者さん中心のチーム医療の実践	所管部局	中央病院			
内 容	患者さんを中心として、全ての職種が、ファイン・チームワークを発揮しスペースを埋めながら医療を行う「チーム医療」に、今後も引き続き取り組みます。 また、各チーム合同によるカンファレンスや研修会を積極的に実施します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○「チーム医療」の推進 ○各チーム合同によるカンファレンスや研修会の実施		実施 検討	推進 検討	推進 検討	推進 検討	推進 検討
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度は、引き続き、栄養サポートチーム(毎週水曜日ラウンド)、褥そう対策チーム(毎週木曜日ラウンド)や緩和ケアチーム(毎週金曜日ラウンド)による支援を行った。(平成21年度の緩和ケア支援患者数は101名)糖尿病対策検討チームによる定期開催の教室、患者指導(年4回程度)等も実施、また、DMATの研修も実施して、これからもチーム医療を推進していくが、各チーム合同カンファレンス等については、開催していなく、検討を進めている。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題項目 13	患者さんのＱＯＬ（生活の質）を高める、各職種による指導・活動の推進	所管部局	中央病院			
内 容	各職種の職員が、それぞれ有する専門的能力を発揮し、患者さんのＱＯＬ（生活の質）を高め、回復力・予防力の向上に貢献する指導や相談事業等を積極的に実施します。【目標項目】					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○薬剤管理指導件数【平成25年度】7,000件 ○栄養管理指導件数【平成25年度】845件 ○検査手帳の作成及びレントゲン手帳の運用【平成22年度】		3,867 検討	5,500 実施	6,000 検討	6,500 改訂	7,000 推進
平成21年度の 主な推進状況	・ 薬剤管理指導は人員不足のため、目標の8割弱の実施であった。 ・ 栄養管理指導件数は、既に目標を超えたので目標を変更した。 ・ 検査手帳の作成及びレントゲン手帳は、ワークグループを立ち上げて内容を検討、タイムスケジュールを作成した。当該手帳は、一体化して、平成22年度実施を目途に検討中。現在は、資料の収集、原稿の作成中である。					
	進行度の評価	B				

※ 栄養管理指導件数について、目標変更。

推進項目 14	患者さんとの人間関係を重視する取り組みの推進	所管部局	中央病院			
内 容	患者さん中心の医療の実践と患者さんの医療への主体的な参加支援を掲げ、平成17年度に制定した「患者の権利章典」については、より一層の患者さんへの周知と職員への浸透を図ります。 また、患者さんが納得して治療を受けるための「インフォームドコンセント（説明と同意）」を徹底し、誠意を持って説明に取り組むとともに、患者さんの不安解消や治療に関する自己決定を支援する「セカンドオピニオン相談」について、引き続き推進します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「患者の権利章典」の患者さんへのより一層の周知		実施	推進	推進	推進	推進
○「患者の権利章典」の職員への浸透		実施	推進	推進	推進	推進
○「インフォームドコンセント（説明と同意）」の徹底		実施	推進	推進	推進	推進
○「セカンドオピニオン相談」の推進		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	「患者の権利章典」については、病院各所に掲示し、患者さんへの周知や職員への浸透を図った。「インフォームドコンセント（説明と同意）」については取組を徹底させ、平成21年度の「セカンドオピニオン相談」件数は4件であった。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題項目 15	病院ボランティアの充実		所管部局	中央病院		
内 容	病院ボランティアの受入については、既に実施している病院環境整備や案内だけでなく、傾聴ボランティア等にも拡大するとともに、ボランティア参加者からのご意見を参考に、参加しやすい環境づくりに取り組みます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○傾聴ボランティア等のボランティアの新規拡大		推進	推進	推進	推進	推進
○ボランティアに参加しやすい環境づくりへの取組		推進	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度のボランティア数は6名で、常に募集しており、控え室を設け、研修等を実施している。ボランティア数は減少傾向にある。					
	進行度の評価	C				

課題 16	患者さんの視点に立ったサービスの提供	所管部局	中央病院			
内 容	職員一人一人が患者さんの視点に立った対応について一層の意識向上を図り、質の高いサービスを提供するために、患者満足度調査の毎年実施や、地域住民による定期的な病院見学の実施により改善に取り組みます。 また、外部講師による接客研修を実施し、全職種の接客能力の向上を図ります。さらに、診療・検査等の待ち時間については、待ち時間調査を実施し、短縮に向けた改善・工夫に努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○患者満足度調査の毎年実施 ○地域住民による定期的な病院見学の実施 ○外部講師による接客研修を実施 ○待ち時間調査の実施と短縮に向けた改善・工夫		実施 検討 実施 実施	推進 検討 推進 推進	推進 検討 推進 推進	推進 検討 推進 推進	推進 検討 推進 推進
平成 2 1 年度の 主な推進状況	患者満足度調査や外部講師による接客研修、待ち時間調査は、毎年、実施しており、平成 2 1 年度も実施した。地域住民による定期的な病院見学については、検討を進めている。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 17	治療効果を高め、満足していただける食事の提供	所管部局	中央病院			
内 容	管理栄養士と調理師が病棟を訪問して摂食状況を調査するなどにより患者さんの食事の状況を把握し、全部食べていただける食事の提供に努めます。 また、行事食や祝い膳の充実とともに季節感を感じていただける工夫を行い、おいしく食べていただけるよう努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○摂食状況の調査		実施	推進	推進	推進	推進
○行事食や祝い膳の充実		検討	実施	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	摂食状況は、個別的に、不定期ながら実施し、概ね、良い結果が得られた。 行事食は実施しているが、祝い膳については、H22から実施予定。					
	進行度の評価	B				

課題 18	新中央病院における療養環境整備	所管部局	中央病院			
内 容	新中央病院においては、患者さんの利便性と居住性の高い、快適な療養環境を整備します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○1床あたり床面積・・・現在の約6㎡から約9.6㎡に拡張		推進			実施	
○個室的多床室・・・各ベッドに外部に面した窓を設置		推進			実施	
○多目的トイレ・・・現在の2カ所から3カ所に増設		(推進)			実施	
○各病棟談話室・患者図書室・カフェコーナーを新設		推進			実施	
○患者用駐車場・・・現在の約300台から400台に増設		推進			実施	
○エレベーター・・・現在の2台から5台に増設		推進			実施	
○ユニバーサルデザインによる設計		実施			実施	
平成21年度の 主な推進状況	平成21年9月13日に改築工事を起工し、平成24年3月の竣工に向けて工事を進めている。					
	進行度の評価	B				

変更点：多目的トイレは、現在の2カ所から各階1カ所以上で、合計31カ所に増設。

理 由：実施設計時に、必要箇所を見直し、結果、1カ所減となった。

●医療の質の確保における進捗状況

課題 19	各種病院サービスにおける利便性の向上	所管部局	中央病院			
内 容	病院を利用される方の利便性の向上に向けて、サービスの導入や充実を検討します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○売店については、コンビニエンスストアの導入や、営業時間の延長・品揃えの充実を検討する ○会計待ち時間短縮を図るための自動精算機の導入と診療費用のクレジットカードによる支払い、及びコンビニエンスストアでの支払いなどの実施について検討する		検討	検討	実施	実施	実施
平成21年度の 主な推進状況	病院総合情報システムの更新に合わせ、自動精算機の導入、診療費用のクレジットカード・デビットカードによる支払いの導入を計画中。					
	進行度の評価	B				

課題 20	県立病院の医療機能を最大限に発揮する、継ぎ目のない連携体制構築	所管部局	中央病院			
内 容	「地域の医療機関の機能分化と連携による、必要な医療を切れ目なく提供する体制の構築」を目ざし、県立病院と地域医療機関との連携をより一層強化します。 また、連携を促進するため、患者さんの治療開始から終了までの全体的な治療計画である「地域連携クリティカルパス」の運用を積極的に進めるとともに、広域でのパスの統一化に努めます。 さらに、医療・保健・福祉の領域を超えた連携をリードする地域医療連携部門のスタッフ（看護師・事務・MSW・PSW等の職種）を充実し、関係各機関との調整能力を高めます。 【目標項目】					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○「地域連携クリティカルパス」の積極的運用		実施	推進	推進	推進	推進
○地域医療連携部門のスタッフの充実		検討	検討	検討	検討	検討
○紹介率・逆紹介率 【平成25年度】						
紹介率80%,		73.5	75.0	77.5	77.5	80.0
逆紹介率70%		70.9	70.0	70.0	70.0	70.0
平成21年度の 主な推進状況	脳卒中、急性心筋梗塞、大腿骨頸部骨折、肺がん等、県下統一されたもの、あるいはそれに準ずる地域連携パスを運用し、機能分化と連携を進めた。患者さんに安心安全な医療を提供するため、急増する医療相談への対応を含め、地域医療連携スタッフの充実が不可欠となる。平成21年度の紹介率は73.5%、逆紹介率は70.9%であった。					
	進行度の評価	C				

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 21	医療の標準化に資するクリティカルパス（入院診療計画）の活用促進	所管部局	中央病院			
内 容	一定の症例について、院内の医療の標準化ツールとして院内で作成・適用しているクリティカルパスについても、院内多職種による連携を図りつつ、適用数の増加に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○クリティカルパスの活用促進		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	※クリティカルパスの種類毎に活用開始年月日を記載してください。 平成21年度時点での登録済みパスは、患者用161 医療者用165 連携パス5で、平成21年度の改訂パスは17になり、現在、登録済みパス の見直しを行っています。					
	進行度の評価		B			

課題 22	医療安全文化の確立		所管部局	中央病院		
内 容	医療安全管理者（医師）を中心とした医療事故の発生の予防，発生した事故の影響拡大等の防止を確立し，県立病院における医療安全文化の醸成に努めます。 また，医療安全管理者（医師）に対する安全管理の業務を行うことを目的とした医療安全管理者研修会の受講機会を確保するとともに，院内での苦情や事故後の対応の際に，患者側との対話を円滑に行えるスキルの養成を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○医療安全文化の醸成に対する努力 ○医療安全管理者研修会の受講		推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	県立病院における医療安全文化の醸成に努めているが，医療安全管理者研修受講者は，看護師はいるものの，医師は多忙なため，思うように受講できない状況にある。引き続き，受講機会の確保に努める。					
	進行度の評価	C				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 23	病院機能評価の更新受審		所管部局	中央病院			
内 容	各病院の機能を第三者が多角的に評価する、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価については、既に全病院が受審し認定を受けておりますが、さらに新たな評価項目が加わった Ver. 6. 0 による再認定を受けるため、各病院が組織的に基準達成に向けた取り組みを行います。 [目標項目] → [医療の透明性の確保]						
実 施 概 要			2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○病院機能評価の更新受審 【平成 2 1 年度】			実施				
平成 2 1 年度の 主な推進状況	H 2 1 年 1 1 月 2 5 日から 2 7 日に、V e r . 6 . 0 による再認定を受審した。H 2 2 年 6 月に認定証が届く。						
	進行度の評価		A				

課題 24	品質管理のための教育・研修の充実		所管部局	中央病院		
内 容	「医療は製品である」という認識の下、医療安全管理・院内感染対策等において安全・安心な医療を提供できるように、全体研修並びに個別研修を充実し、品質の保証に取り組みます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○全体研修並びに個別研修を充実		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	月1回の全体研修(CHANEL カンファレンス)において、毎回インシデント報告を行っている他、全職員対象の想定訓練や暴力対策研修を実施した。感染対策においては、感染管理認定看護師を中心に、新人研修・委託職員研修等、レベルに合わせた研修会を実施した。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 25	中央病院を中心とした臨床研修医の育成	所管部局	中央病院			
内 容	県全体の安定的な医療供給体制の確保に資するため、中央病院の特色である救命救急医療や総合診療の魅力を生かし、初期及び後期臨床研修医の計画的育成を行います。 また、沖縄県立中部病院への派遣研修の実施や、総合メディカルゾーンとして徳島大学病院と連携することにより、互いの機能の特長を生かした研修を実施するなど、魅力ある研修プログラムを策定します。 [目標項目]					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○魅力ある研修プログラムを策定 ○初期及び後期臨床研修医数 【平成25年度】 60名		実施 34	推進 43	推進 50	推進 55	推進 60
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度は、初期及び後期臨床研修医数34名を受け入れ、魅力ある研修プログラムの作成を実施した。					
	進行度の評価	B				

課題 26	中央病院における徳島大学病院・県医師会との協力による指導医の育成	所管部局	中央病院			
内 容	中央病院における指導医を増やすとともに、県内で臨床研修に携わる指導医の増員と指導能力のレベルアップを図るために、今後も引き続き徳島大学病院や県医師会との協力による指導医の育成に取り組めます。〔目標項目〕					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○臨床研修指導医数 【平成25年度】 45名		50	52	55	57	57
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度は、10名の医師が、講習会等に参加した。引き続き、指導医の増員と指導能力のレベルアップに取り組む。					
	進行度の評価	A				

※ 臨床研修指導医数について、計算方法が不明確だが、現時点で目標変更。

●医療の質の確保における進捗状況

課題 27	中央病院における学生実習の充実		所管部局	中央病院			
内 容	中央病院において、看護学生や各種医療関係学科の学生実習の充実を図るために、指導者の育成と能力向上を図ります。						
実 施 概 要			2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○指導者の育成と能力向上			実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	薬剤局は薬学部6年制の認定実務実習指導薬剤師を5名養成した。また、実習マニュアルを作成した。 徳島県保健師助産師看護師等実習指導者講習会を2名受講した。平成22年度も同様に2名受講を計画している。 放射線技師の徳大からの学生実習は36名で、臨床実習指導者の育成は、資格取得と能力向上の為、計画的に研修会等に参加した。						
	進行度の評価	B					

課題 28	中央病院における、都道府県がん診療連携拠点病院としての、県内医療従事者への研修・啓発	所管部局	中央病院			
内 容	都道府県がん診療連携拠点病院として、がん医療に係る県内医療従事者への研修・啓発に引き続き取り組むため、「がんコンソーシアム」や「緩和ケアセミナー」の開催に取り組みます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「がんコンソーシアム」の取組 ○「緩和ケアセミナー」の開催		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	がん診療連携拠点病院は、都道府県から地域へ変わったが引き続き「がんコンソーシアム」や「緩和ケア研修会」の開催に取り組む。平成21年度は「がんコンソーシアム」を2回、「緩和ケア研修会」を1回開催した。 がん看護・がん治療勉強会「やまもも勉強会」を月1回開催し、マンスリーFAXで地域医療機関へ案内している。リンパ浮腫研修会を継続し、平成21年度は、県内で16名が終了した。					
	進行度の評価	B				

変更：H22.3.3 に都道府県がん診療連携拠点病院から地域がん診療連携拠点病院に変更。

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 29	中央病院における，地域医療支援病院としての， 地域医療機関等との共同研修	所管部局	中央病院			
内 容	地域医療支援病院として，連携する地域医療機関と顔が見える関係を構築し，一体となって患者さんの診療を実施するために，引き続き，情報共有や啓発の場である「医療連携担当者ネットワークミーティング」の開催に取り組みます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○医療連携担当者ネットワークミーティング」の開催		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	今年も，「医療担当者ネットワークミーティング」を開催した。介護支援専門員協会との共催事業として多数の介護・福祉分野からの参加があった。 地域医療支援病院として，引き続き毎年，「医療連携担当者ネットワークミーティング」の開催する。					
	進行度の評価	B				

課題 30	中央病院における医薬品臨床試験業務（治験）の充実	所管部局	中央病院			
内 容	中央病院治験管理センターの体制を充実することにより，治験審査委員会の運営や治験コーディネーター業務等を円滑に進め，医薬品の臨床試験を増やします。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○医薬品の臨床試験の増加		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	第Ⅱ相1件及び第Ⅲ相2件を実施した。また，治験事務局セミナーに薬剤師1名を派遣した。引き続き治験の実施を推進していく。 なお、治験事務局を事務局から薬剤局に移した。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 31	質の高い看護の提供を目指した、キャリアラダーによる研修の実施	所管部局	中央病院			
内 容	看護師の意欲を高め、専門性を高めるために、卒後のキャリアに応じてレベルを高める、看護師キャリアラダーによる研修制度を確立します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○看護師キャリアラダーによる研修制度の確立		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	キャリアラダー獲得者も徐々に増え、取り組みの成果が見え始めている。ラダー毎の研修に加え、計画的で自主的な研修への参加もみられ、職員の教育意欲向上が実感できる。					
	進行度の評価	B				

課題 32	各職種の専門性を高める資格取得や研修受講の促進	所管部局	中央病院			
内 容	各県立病院がそれぞれの担うべき機能に応じ研修方針・研修計画を策定し、各職種の資格取得を推進するとともに、取得後の技術・ノウハウ活用を図ります。 〔目標項目〕					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○資格取得を推進 認定看護師数 【平成 2 5 年度】 病院事業全体で 1 2 名 ○資格取得後の技術・ノウハウの活用		1 実施	1(予定) 推進	推進	推進	推進
平成 2 1 年度の 主な推進状況	認定看護師は、救急認定看護師教育課程を修了し、認定審査の結果待ちの状況にある。また、平成 2 2 年度も 1 名の研修予定がある。感染看護認定看護師は専従となり、ICTラウンドの開始に繋がっている。 医療技術局では、医学物理士資格取得の為に、計画的な研修会参加等を進めている。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 33	県立病院学会の実施による知識の向上と共有				所管部局	中央病院
内 容	各県立病院職員が一堂に会して日頃の研究成果を発表する「県立病院学会」を引き続き開催し、職員の相互交流と知識の向上・共有を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「県立病院学会」の開催		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	毎年、県立病院学会を開催し、職員の相互交流と知識の向上・共有を図っている。					
	進行度の評価	B				

課題 34	先進病院に対する派遣研修の実施				所管部局	中央病院
内 容	県立病院の核となる医療機能の発揮に向けて、救急医療・がん医療などにおける先進病院への派遣研修を実施します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○先進病院への派遣研修の実施		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	薬剤局は、1名を癌研有明病院に、H22.1.5 から 3.26 まで、がん専門薬剤師研修に派遣した。 その他、先進病院への派遣研修について検討を続けているが、時間的人員的問題もあり、難しい状況にある。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 35	育児と仕事の両立支援				所管部局	中央病院
内 容	育児短時間勤務制度の活用など、職員の育児と仕事の両立を図ることのできる環境整備に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○育児短時間勤務制度の活用等		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度は3名の育児短時間勤務制度の活用があり、また、24時間保育を実施しており、育児と仕事の両立を図るべく、環境整備に努めている。					
	進行度の評価	B				

●医療の透明性の確保における進捗状況

課題 1	DPC（診断群分類別包括評価制度）の導入による医療の透明性の向上				所管部局	中央病院
内 容	DPCの導入により明らかになるMDC（主要診断群）別の患者数の他、傷病・診療行為（手術・処置等）のデータを解析し、各病院の入院診療に係る実績として公開に取り組みます。 [目標項目]					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○DPCの導入 ○DPC解析データの公開		実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	DPC の導入は、既に行っている。データの解析は少しずつ行い、適切なコーディング情報を委員会に提出している。今後、更なる解析と公開に努めたい。					
	進行度の評価	B				

課題 2	県立病院の医療の質や提供状況がわかる臨床指標の公開（再掲）				所管部局	中央病院
内 容	患者さんの選択に役立つことや税が投入された病院としての成果を示すため、がんの術後生存率、手術後の死亡率、疾病別手術件数、術後在院日数等、診療の結果や治療成績などの実績について、ホームページでの公開に取り組みます。 [目標項目]					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○臨床指標のホームページ公開 【各病院】平成21年度から実施		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度に、臨床指標をホームページに公開しているが、更に公開できる臨床指標や公開すべき実績について検討を進めていく。					
	進行度の評価	B				

●医療の透明性の確保における進捗状況

課題 3	患者さんと一体となった医療を実践する「私のカルテ」の発行	所管部局	中央病院			
内 容	患者さんの理解を助け、また、他の医療機関受診時の診療情報の共有にも役立てていただくため、医師診療録・看護記録・検査結果などを「私のカルテ」として発行することに取り組みます。【目標項目】					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○「私のカルテ」の発行 【平成 2 1 年度】		実施	検討	検討	検討	検討
平成 2 1 年度の 主な推進状況	平成 2 1 年度に小児科にて実施しており、前年 11 月から現在まで約 308 件、発行している。引き続き、掲載内容や発行診療科について検討を進める。					
	進行度の評価	B				

課題 4	病院事業経営内容の公開			所管部局	中央病院		
内 容	病院事業の決算内容や医療の質・透明性・効率性の向上に向けた取り組み内容について、今後も引き続き、ホームページを活用して積極的に公開します。						
実 施 概 要			2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○決算内容や取り組み内容についてのホームページ公開			実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	基礎情報(経営指標), 臨床指標, 救急実績等, 一部の取り組み内容については, ホームページで公開したが, 詳細な決算内容等については, 公開していないものもある。決算内容や取り組み内容(詳細)は, 平成22年度内から公開していきたい。						
	進行度の評価		B				

●医療の透明性の確保における進捗状況

推進項目 5	各県立病院毎の「住民参加会議」の開催	所管部局	中央病院			
内 容	医師の疲弊と離職を防ぐため、各病院で開催される経営戦略会議等に、地域住民によって設立された団体等の代表者が参加する「住民参加会議」を引き続き開催し、県立病院の現状を明らかにするとともに、地域医療を共に考え、共に支えていただけるような関係づくりを行います。 また、地域団体の研修会等に積極的に出向き、病院運営の現状を説明します。 〔目標項目〕					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○経営戦略会議への住民参加 【各病院】継続して実施		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	中央病院経営戦略会議について、住民代表に参加していただいた。引き続き、実施していきたい。 また、要請があれば、地域団体の研修会等に積極的に出向き、病院運営の現状を説明するようにしたい。					
	進行度の評価	B				

推進項目 6	県民公開講座及び院内健康教室の開催		所管部局	中央病院		
内 容	各病院それぞれの機能の特性に応じ、患者さんや住民の皆様を対象とした疾病・療養に関する「県民公開講座」並びに「院内健康教室」を開催します。 [目標項目]					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「県民公開講座」の開催 【年間2回】		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	毎年、がん関係と糖尿病関係の「県民公開講座」を開催している。平成21年も実施したが、2つの議題に分かれるが、便宜上、午前と午後に分けて1日で行っている。 平成21年度の「院内健康教室」としては、糖尿病教室、やまもも教室(がん)、呼吸器教室等を行い、その他、禁煙外来、ストマ外来、助産師外来等を実施している。					
	進行度の評価	B				

●医療の透明性の確保における進捗状況

議題 7	病院広報の充実	所管部局	中央病院			
内 容	病院局及び各病院のホームページを充実し、患者さんには地域医療連携の重要性や必要性等、医療についてわかりやすく説明するとともに、病院の姿が実感できる、親しみやすい情報の提供に努めます。 また、他の医療機関、将来医療を志す方等に向けては、診療機能や臨床研修に関する情報提供を充実します。 さらに、各病院広報誌や各自治体広報誌を通じた情報提供も積極的に実施します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○ホームページの充実 ○各病院広報誌や各自治体広報誌を通じた情報提供		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	当院のホームページに地域医療連携や臨床研修医等について、掲載しており、親しみやすい情報の提供に努めた。また、地域連携のマンスリーFAXや病院広報誌ナニージャ等により、情報提供を積極的に実施した。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 2	各病院の機能整備の動向に即した施設基準の取得	所管部局	中央病院			
内 容	計画期間における各病院が担うべき医療機能の整備動向に即した、診療報酬上の施設基準の取得を図るとともに、診療報酬改定への迅速な対応や、DPC（診断群分類別包括評価）における最適な請求など、適切な診療収益の確保に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○診療報酬改定への迅速な対応 ○DPCにおける最適な請求		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成22年度の診療報酬改定への対応として、講習会を開いたり、人員の手配をする等の対応準備を行った。DPC（診断群分類別包括評価）については、最適な請求ができるように、引き続き、適切な診療収益の確保に努めている。					
	進行度の評価	B				

課題 3	地域連携・機能分担の実情に応じた新規患者の受入	所管部局	中央病院			
内 容	中央病院及び三好病院については、いずれも核となる医療機能として急性期医療機能の発揮を目ざし、診療圏内の地域医療機関との連携により、新規入院患者数の増加を図ります。 [目標項目]					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○一般病床平均在院日数 13.0日 【平成25年度】		13.4	13.3	13.2	13.1	13.0
平成21年度の 主な推進状況	一般病床平均在院日数は、13.4となり、急性期病院としての機能を発揮している。新規入院患者数も821名と増加した。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題目 4	診療報酬請求漏れの防止	所管部局	中央病院			
内 容	各病院における総合医療情報システムの有効活用により、ヒューマン・エラーによる請求漏れを防止します。 また、各病院において院内各部門と医事委託業者から構成されるレセプト委員会を毎月開催し、診療報酬請求の精度向上を図ります。 なお、既に実施している中央病院に引き続き、三好病院及び海部病院においてもレセプトオンライン請求による効率的な請求を実施します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○総合医療情報システムの有効活用 ○毎月のレセプト委員会の開催 ○レセプトオンライン請求の実施		検討 実施 実施	検討 推進 推進	検討 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	病院における総合医療情報システムの有効活用を推進している。 また、診療報酬検討委員会を毎月開催し、診療報酬請求の精度向上に努めている。 なお、レセプトオンライン請求は実施済み。					
	進行度の評価	B				

課題 5	使用料・手数料設定の見直し	所管部局	中央病院			
内 容	各病院における使用料・手数料については、健全経営の確保を踏まえた原価を反映した上、周辺の公的医療機関との均衡等も勘案し、適切な料金設定を行います。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○適切な料金設定		実施	検討	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度は、出産料金の時間内と時間外料金を、それぞれ14万円と15万円に変更した。周辺の公的医療機関との均衡等も勘案し、適切な料金設定を行いたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題項目 7	後発医薬品の採用拡大	所管部局	中央病院			
内 容	後発医薬品の採用については、患者さんの負担軽減とともに、薬品費の削減に繋がるため、積極的に採用を増やします。 [目標項目]					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○後発医薬品購入額割合 【各病院】薬品購入額の10% 【平成25年度】		8.4%	8.8%	9.2%	9.6%	10.0%
平成21年度の 主な推進状況	後発医薬品16品目を追加採用した。 薬価ベースで9.0%、購入割合では8.4%となるが、購入ベースだと値引き分が反映されてしまうが、それで良いか？					
	進行度の評価	B				

※ 後発医薬品購入額割合について、目標の意味を再確認すること。

推進項目 8	委託契約・賃借契約における効率的な契約の実施	所管部局	中央病院			
内 容	各病院における委託契約・賃借契約については、委託業務内容・賃借契約内容と金額のバランスを検証し、効率性と品質管理の両面から見直しに努めます。 また、複数年の継続契約、一括委託契約（複数業務を集約した、包括的な委託契約）、3 病院を統一した一括契約等についても、積極的に実施します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○委託契約・賃借契約についての見直し ○複数年の継続契約、一括委託契約の実施 ○3 病院を統一した一括契約等の実施		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度は、委託業務管理委員会を設置し、委託内容(仕様)、金額等について見直しを行い、入札業者が少ない業務はプロポーザルを実施した。 複数年の継続契約、一括委託契約（複数業務を集約した、包括的な委託契約）、3 病院を統一した一括契約等についても実施した。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 9	医療器械購入における競争入札の推進	所管部局	中央病院			
内 容	一般の医療器械については、今後も特別な理由があるものを除き、競争入札により購入します。 また、高額医療器械については、保守経費も含めた一般競争入札の他、総合評価一般競争入札の実施を検討し、総合的なコスト抑制や品質の確保を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○一般競争入札、総合評価一般競争入札の実施		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	一般の医療器械については、特別な理由があるものを除き、競争入札により購入するように努めた。					
	進行度の評価	B				

※ 総合評価一般競争入札は、除くのか？

課題 10	ホテルサービス部門及び事務・管理業務等の委託化	所管部局	中央病院			
内 容	給食・清掃・洗濯等のホテルサービス部門については、職員の転出先にも配慮しつつ、外部委託に積極的に取り組みます。 また、検体検査業務、滅菌材料室、院内施設維持管理、一般事務等についても、引き続き外部委託に取り組みます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○ホテルサービス部門の外部委託 ○一般事務等の外部委託		実施	検討	検討	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成 21 年度は、給食業務を外部委託した。他に多くの業務を外部委託しているが、院内施設維持管理、一般事務等の外部委託については、現在、検討中である。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題項目 11	未収金の発生防止と回収促進		所管部局	中央病院		
内 容	患者さんの診療費用については、24時間会計の実施や支払い相談の充実等により、未収金の発生防止に努めます。 また、未収金が発生した場合には、速やかに支払い督促を実施し、納入指導の徹底により、回収不能債権の発生防止に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○24時間会計の実施 ○支払い相談の充実 ○速やかな納入指導の徹底		実施 実施 実施	推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度から、24時間会計は実施済み。 支払い相談の充実には、MSWの増員が不可欠。 電話、督促状による督促は、実施している。					
	進行度の評価	B				

推進項目 12	業務改善の手段としての情報化の推進		所管部局	中央病院		
内 容	各病院で導入している電子カルテをはじめとする病院総合情報システムの使用にあたっては、能力を最大限に使用し、その効果である効率性の発揮に努めます。 また、院内の情報化を組織的に推進するために、院長のリーダーシップの下、情報化委員会主導によるシステム整備と一元的管理に努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○病院総合情報システムの最大限の活用 ○情報化委員会主導によるシステム整備と一元的管理		実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	電子カルテ、オーダーリングシステム、医事会計システム等、既存の病院総合情報システムを最大限に活用することにより、業務の効率化を図った。 定期的に、システム管理委員会を開き、院長のリーダーシップの下、システム整備と一元的管理に努めている。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 14	経営戦略会議の充実	所管部局	中央病院			
内 容	本局及び各病院で開催している経営戦略会議について、病院局本局職員と各病院の幹部職員が、環境変化に迅速に対応し、戦略的な取り組みを議論する場として、また、各病院職員が経営問題を共有する場として引き続き実施し、内容を充実します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○経営戦略会議の内容の充実		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	内容について、その時々状況により充実させた。					
	進行度の評価	B				

課題 15	幹部職員の経営管理力の向上		所管部局	中央病院		
内 容	各病院における管理者会議で、各病院経営における重要案件を議論し、病院幹部職員が一丸となって経営に取り組みます。 また、各病院の幹部職員や中堅職員に対して、経営分析力や経営企画力を高める合同研修を実施し、マネジメントに長けた職員の育成に努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○幹部職員や中堅職員に対する経営分析力や経営企画力を高める合同研修の実施		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	管理者会議は、重要案件を議論しているが、各局長は、全国自治体病院協議会が開催している各部会総会研修会に参加したり、その他、研修会や病院視察を実施した。しかし、経営分析力や経営企画力を高める合同研修は実施していない。これからも、病院幹部職員が一丸となって経営に取り組む。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 16	D P C（診断群分類別包括評価）データ活用による経営分析の実施				所管部局	中央病院
内 容	D P Cの運用から得られる自院の診療データ及び厚生労働省から公表される統計データの分析を行い、医療の質の向上・コスト削減・経営戦略策定等に積極的に活用します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○診療データや統計データの分析、活用		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	不定期ながら、D P Cデータの分析を実施した。定期的に診療データや統計データの分析を実施し、活用できるように推進する。					
	進行度の評価	B				

課題 17	目標設定とP D C Aサイクルによる進行管理の推進				所管部局	中央病院
内 容	各課・各診療科・各部門等において明確に目標を設定し、P D C Aサイクルによる進行管理に努めるとともに、Q C（クオリティ・コントロール：品質管理）活動やB S C（バランス・スコアカード：多元的な業績評価システム）の浸透を図ります。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○各課・各診療科・各部門等における目標設定		実施	推進	推進	推進	推進
○P D C Aサイクルによる進行管理		実施	推進	推進	推進	推進
○Q C活動やB S Cの浸透		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度は、各局において、共通様式にて目標設定を実施した。P D C Aサイクルによる進行管理やQ C活動・B S Cの浸透については、実施している部署もあるが、全部局の実施には至っていない。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 18	全部門による実績報告・目標発表会の実施		所管部局	中央病院		
内 容	職員の任用形態や委託職員の区別無く、病院内の全ての職員の一体感の醸成と経営認識の向上を図るために、前年度の実績報告と当年度の課題・目標について院内で発表する「実績報告・目標発表会」を行います。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「実績報告・目標発表会」の実施		検討	検討	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成20年度には、「実績報告・目標発表会」を実施できたが、昨年度は機能評価受審があり、できなかった。今年度は再会できるように検討したい。					
	進行度の評価	C				

課題 19	堅実な危機管理体制の構築	所管部局	中央病院			
内 容	各病院職員が救急勉強会、ACLS、BLS、AED講習会等救急に関する研修を定期的に行い、スキルアップを図ることにより、院内での急変時の対応や災害発生時の患者受け入れ体制を強化します。 また、災害拠点病院である各病院においては、大規模災害や新型インフルエンザ等の災害事象発生を想定した実践的な訓練や研修実施に取り組むとともに、災害対策マニュアルの改訂を行います。 さらに、病院局全体が組織的に迅速な行動が実施できるよう、各病院と病院局本局との連携体制の堅持に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○救急に関する研修会の実施		実施	推進	推進	推進	推進
○災害事象発生を想定した実践的な訓練や研修の実施		実施	推進	推進	推進	推進
○災害対策マニュアルの改訂		改訂				
○各病院と病院局本局との連携体制の堅持		検討	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	救急に関する研修会は定期的実施、また災害事象発生を想定した実践的な訓練や研修の実施は、年1～2回実施している。					
	平成21年度には災害対策マニュアルを改訂した。各病院と病院局本局との連携体制はこれからも推進していく。					
進行度の評価		B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 21	3 病院の診療面の連携・協調		所管部局	中央病院		
内 容	これまでにも、三好病院及び海部病院における常勤医師不足に対して、「県立病院は三つでひとつ」の考えの下、中央病院の医師等による、応援診療・電子化された撮影画像の読影・病理検査などの支援を行ってきました。 今後も、三好病院及び海部病院における医師不足が解消されるまでの間は、同様の支援を実施するとともに、中央病院における救急機能の強化に併せて、三好病院及び海部病院で対応できない救急患者の診療連携に取り組みます。 また、中央病院で高次の治療を行ったがん患者について、より自宅近くで療養できる場合に、三好病院及び海部病院での受け入れを進めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○中央病院の支援 ○3病院の連携		実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	中央病院の医師による海部、三好、三野病院等への支援(派遣)や、その他応援診療・電子化された撮影画像の読影・病理検査などの支援を合わせてを行ってきた。平成22年度には、要望に応じて、月2回、マンモグラフィー撮影のため、三好病院に医療技術員(女性技師)を派遣している。これからも、3病院間での連携を中心として、医療機能の強化を図っていく。					
	進行度の評価	B				

課題 22	資産等購入における共同化の拡充	所管部局	中央病院			
内 容	各種の器械・材料・消耗品等の購入については、今後も引き続き共同化のメリットを追求し、効率化に努めます。 なお、総合メディカルゾーンの機能連携の一つとして、徳島大学病院との医薬品及び医療材料の共同購入について検討します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○高額医療器械（同種器械の一括入札推進、同一メーカー器械の一括入札検討）		推進	推進	推進	推進	推進
○医薬品		推進	推進	推進	推進	推進
○医療材料（使用品目の絞り込みと共同購入対象品目数の拡大）		推進	推進	推進	推進	推進
○その他（主要給食材料・消耗品・燃料等）		推進	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	高額医療器械の3病院での同種器械の一括入札、同一メーカー器械の一括入札を推進していきたい。 診療(医療)材料の共同購入については、平成18年度から実施している。平成20年度は共同入札と購入を実施したが、21年度の共同入札は、22年度の準備(品目の絞り込み、拡大)のため実施せず、共同購入だけ実施した。 なお、22年度は、新たに10品目(20種類)追加して、共同入札し、購入した。22年度以降、毎年、共同入札と購入を実施することにした。 徳島大学病院との医薬品及び医療材料の共同購入については、平成21年10月16日に、知事と大学長との間で締結された「総合メディカルゾーンにおける地域医療再生に関する合意書」の合意事項の1つとして共同交渉による調達を進めるとしている。					
進行度の評価		C				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 23	経営指標	所管部局	中央病院			
内 容	経営指標のうち経常収支比率・職員給与費対医業収益比率・病床利用率（精神病床を除く）については、公立病院改革ガイドラインの規定により平成23年度を目標値として取り組みます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○経常収支比率 101.0%		104.6%	103.9%	101.0%	91.7%	92.1%
○病床利用率（精神病床を除く）81.0%		82.0%	81.5%	81.0%	83.8%	84.6%
○職員給与費対医業収益比率57.5%		54.4%	54.9%	57.5%	56.8%	55.5%
【平成23年度】						
平成21年度の 主な推進状況	経常収支比率 103.6% 病床利用率（精神病床を除く）78.2% ただし、440病床として （386病床だと89.1%になる。） 職員給与費対医業収益比率 57.2% となっている。					
	進行度の評価	B				

三好病院分

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 1	がん診療	所管部局	三好病院			
内 容	手術・化学療法・放射線治療による質の高い治療を実施します。また、がん患者及び家族のQOL向上を図るとともに、病院内のがんに関するデータを把握する「院内がん登録」に取り組みます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○質の高い治療を実施 ○がん患者及び家族のQOL向上 ○「院内がん登録」		検 討 実 施 検 討	実 施 推 進 実 施	推 進 推 進 推 進	推 進 推 進 推 進	推 進 推 進 推 進
平成21年度の 主な推進状況	20年度に減少した外科医師数の確保がままならず、これまでの状況を維持することすら危ぶまれる状況であったが、関係機関の協力を得ながらそれを凌いできた。 関係機関と協議を進めながら、次年度に向けての基盤整備に努めた。					
	進行度の評価	D				

課題 2	脳卒中及び急性心筋梗塞診療	所管部局	三好病院			
内 容	救急・急性期分野を中心とした治療を実施します。また、地域連携クリティカルパスの運用に取り組み、地域における医療・福祉機関と円滑な連携を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○地域連携クリティカルパスの運用 ○地域における医療・福祉機関との円滑な連携		検討	検討	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	県医師会主導により地域連携パスの策定への取り組みが図られているが、県西部地区における中核病院として参加し地域連携パスの適用に努めた。 10ページ「推進項目20」参照					
	進行度の評価	C				

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 3	糖尿病診療	所管部局	三好病院			
内 容	急性増悪時の治療を実施するとともに、各職種による指導により、患者さんの日常生活・療養面の改善に貢献します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○各職種による指導により、患者さんの日常生活・療養面を改善		検 討	実 施	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	糖尿病専門医不在の中、非常勤医により糖尿病教室を開催し、地域住民のニーズに応えている。 20年度から保健所主導により、地域連携パスへの取り組みが図られているが、地域中核病院としてその役割を十分に果たしているとは言えない状況である。					
	進行度の評価		C			

課題 4	高度医療の充実	所管部局	三好病院			
内 容	高度技術を要する内視鏡医療やインターベンション医療（連続血管撮影装置等を利用した血管内治療法）の積極的推進を図ります。また、高度医療器械を効率的に使用し、地域医療連携として積極的活用を図ります。 <主な高度医療器械> 【三好病院】内視鏡・DSA（連続血管撮影装置）・CT・MRI					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○高度医療の積極的推進		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
○地域医療連携としての積極的活用		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	高度医療器械の効果的な使用を図るために、画像読取装置等を購入するとともに、急性心筋梗塞等の高度技術を必要とする患者に対し積極的にインターベンション医療を推進した。また、地域医療センターにおける相談援助業務を通じて、CT、MRI等の高度医療の提供をサポートしている。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

議題 5	急性期医療機能の充実に向けた看護師の増員	所管部局	三好病院			
内 容	新中央病院においては、東部 I 保健医療圏における急性期病院として、さらに機能を高めるため、一般病棟入院基本料の 7 : 1 入院基本料施設基準の取得を目ざし、看護師を増員します。 また、将来の三好病院への導入についても検討します。[目標項目：平成 26 年度]					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○7：1 看護の実施		検 討	検 討	実 施	推 進	実 現
平成 21 年度の 主な推進状況	25 年度までの前倒し取得をめざし、看護必要度、平均在院日数等取得要件の克服に向けた検討を行った。					
	進行度の評価	C				

課題項目 6	医師確保機能の強化		所管部局	三好病院			
内 容	各病院の常勤医師の不足が続く状況においては、病院事業管理者を補佐し、医師確保に係る企画・情報収集・交渉等を行う機能を充実するほか、研修医確保のための企画立案や各病院との調整を図るなど、全組織を挙げた医師確保機能の強化に努めます。						
実 施 概 要			2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○全組織を挙げた医師確保機能の強化			検 討	実 施	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	20年度に大きく減少した医師の確保を図るべく、病院局（病院事業管理者）に一任するのではなく、病院自らも各関係機関の協力を仰ぎながら、その確保に努めた。						
	進行度の評価		C				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 7	医師の安定確保に向けた条件整備	所管部局	三好病院			
内 容	救急部門における件数増加に伴う医師の過重労働や、病院全体の医師数減少に伴う負担が増加している状況において、医師の負担軽減とモチベーション向上につながる改善を実施することにより、今後の医師の離職防止に努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○医師事務作業補助員の効果検証とともに、各補助員の能力向上を図り、積極的に活用 ○医師公舎等の居住環境の改善 ○資格取得や研修等の自己啓発に一定期間集中できる、自己啓発等休業制度の活用が図られるような環境整備に努める ○地域医療を自ら守ろうという趣旨で活動する団体や地元自治体と連携を強め、医師の離職防止を図る		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	医師の事務負担軽減を図るため、21年度から医師事務作業補助を4名体制へ増強し、経費面での費用対効果もプラスの実績を上げている。 医師公舎の計画的改修、当直室の修繕等居住環境の整備を図った。 また、住民が自らの力で地域医療を守ることを目指して組織された「三好病院を応援する会」による医師公舎の清掃作業等の活動との連携を通じて、医師の離職防止を図っている。					
	進行度の評価	B				

課題 10	今後の医療の質の向上に資する専門職種の適正な確保	所管部局	三好病院			
内 容	地域医療連携の推進にあたり、重要な役割を果たすMSW（メディカルソーシャルワーカー）・精神保健福祉士（PSW）、医療機器の安全管理の向上を図るための臨床工学技士について、適正な確保を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○MSWの確保 ○精神保健福祉士（PSW）の確保 ○臨床工学技士の確保		検討	実施	推進	推進	推進
		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	MSWについては、臨時職員が退職後補充できず、21年度は看護相談中心の対応となった。 臨床工学技士については、業務領域がどんどん増えており業務内容の見直し改善が必要になってくることが考えられる。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 11	医療の質を示す臨床指標（クリニカル・インディケーター）の設定	所管部局	三好病院			
内 容	県立病院における診療の結果や治療成績などの実績を適切に評価し、担うべき医療機能への貢献度の測定や、院内での研修方針への活用、また、県民へ情報開示することを目指して、臨床指標設定のためのデータ収集や分析に取り組みます。 [医療の透明性の確保で再掲載]					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○臨床指標設定のためのデータ収集や分析への取組		検討	実施	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度においては、診療情報管理士が長期休暇を取得したことから、全く取り組めていない。 （平成22年度においては、他病院における事例や公表の状況を見ながら、どのような項目を臨床指標（クリニカル・インディケーター）として設定するのかを検討していく。）					
	進行度の評価	D				

課題 12	患者さん中心のチーム医療の実践	所管部局	三好病院			
内 容	患者さんを中心として、全ての職種が、ファイン・チームワークを発揮しスペースを埋めながら医療を行う「チーム医療」に、今後も引き続き取り組みます。 また、各チーム合同によるカンファレンスや研修会を積極的に実施します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○「チーム医療」の推進 ○各チーム合同によるカンファレンスや研修会の実施		実 施 実 施	推 進 推 進	推 進 推 進	推 進 推 進	推 進 推 進
平成21年度の 主な推進状況	患者さんを中心とするチーム医療を推進するため、各職種の代表者で組織された各種チームを設置し、それぞれの専門性を生かし、良質で安全な医療の提供に取り組んでいる。 例えばNST推進チームにおいては治療をより効果的に進めるために、栄養面のリスクアセスメントを行い、栄養面からサポートしている。その他褥瘡対策、クリティカル・パス、化学療法推進、緩和ケア、排泄ケア等のチームが職種間の垣根を越えて情報交換や相互連携を図り、情報を共有しながらファイン・チームワークの精神でチーム医療を実践している。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 13	患者さんのＱＯＬ（生活の質）を高める、各職種による指導・活動の推進	所管部局	三好病院			
内 容	各職種の職員が、それぞれ有する専門的能力を発揮し、患者さんのＱＯＬ（生活の質）を高め、回復力・予防力の向上に貢献する指導や相談事業等を積極的に実施します。〔目標項目〕					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○薬剤管理指導件数【平成25年度】3,000件		実施	推進	推進	推進	推進
○栄養管理指導件数【平成25年度】500件		実施	推進	実現	実現	実現
平成21年度の 主な推進状況	薬剤科においては、21年度は職員1名が産休により実質6名で業務を行ったため服薬指導件数は目標値には及ばなかった。 栄養管理科においては、栄養指導実施者のデータベース化、栄養指導依頼システムの改善等を行い継続指導率が増加し、また22年度からの件数増加に結びつくシステムとした。					
	進行度の評価	B				

課題項目 14	患者さんとの人間関係を重視する取り組みの推進	所管部局	三好病院			
内 容	患者さん中心の医療の実践と患者さんの医療への主体的な参加支援を掲げ、平成17年度に制定した「患者の権利章典」については、より一層の患者さんへの周知と職員への浸透を図ります。 また、患者さんが納得して治療を受けるための「インフォームドコンセント（説明と同意）」を徹底し、誠意を持って説明に取り組むとともに、患者さんの不安解消や治療に関する自己決定を支援する「セカンドオピニオン相談」について、引き続き推進します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「患者の権利章典」の患者さんへのより一層の周知		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
○「患者の権利章典」の職員への浸透		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
○「インフォームドコンセント（説明と同意）」の徹底		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
○「セカンドオピニオン相談」の推進		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	患者さんとの信頼関係を構築し、患者さんの医療参加への主体性を促すため、「患者の権利章典」の周知徹底を図るとともに、患者さんの治療に関わるあらゆる情報を確実に伝え、同意を得る「インフォームドコンセント」の手続きについて、各委員会等あらゆる機会を通じて院内統一を図っている。 また、地域医療センターを窓口とするセカンドオピニオン外来を開設し、がんまたはその疑いのある患者さん等からの相談に応じる体制を整備した。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 15	病院ボランティアの充実	所管部局	三好病院			
内 容	病院ボランティアの受入については、既に実施している病院環境整備や案内だけでなく、傾聴ボランティア等にも拡大するとともに、ボランティア参加者からのご意見を参考に、参加しやすい環境づくりに取り組みます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○傾聴ボランティア等のボランティアの新規拡大		検討	実施	推進	推進	推進
○ボランティアに参加しやすい環境づくりへの取組		検討	実施	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度においては、病院ボランティアそのものへの参加が少なかった。 （平成22年度においては、広報誌やホームページにおいて病院ボランティアへの参加者を募集するとともに、傾聴ボランティアその他のボランティアについても他病院の状況を調査し、拡大できるものについては拡大していきたい。）					
	進行度の評価	D				

課題 16	患者さんの視点に立ったサービスの提供	所管部局	三好病院			
内 容	職員一人一人が患者さんの視点に立った対応について一層の意識向上を図り、質の高いサービスを提供するために、患者満足度調査の毎年実施や、地域住民による定期的な病院見学の実施により改善に取り組みます。 また、外部講師による接客研修を実施し、全職種の接客能力の向上を図ります。さらに、診療・検査等の待ち時間については、待ち時間調査を実施し、短縮に向けた改善・工夫に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○患者満足度調査の毎年実施 ○地域住民による定期的な病院見学の実施 ○外部講師による接客研修を実施 ○待ち時間調査の実施と短縮に向けた改善・工夫		実施 実施 実施 実施	推進 推進 推進 推進	推進 推進 推進 推進	推進 推進 推進 推進	推進 推進 推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	接客向上委員会により毎年待ち時間を含めた患者満足度調査が実施され、それに基づく接客研修及び待ち時間の改善が図られている。月1回の経営戦略会議に住民代表が参加し、地域住民の声を取り入れている。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 17	治療効果を高め、満足していただける食事の提供	所管部局	三好病院			
内 容	管理栄養士と調理師が病棟を訪問して摂食状況を調査するなどにより患者さんの食事の状況を把握し、全部食べていただける食事の提供に努めます。 また、行事食や祝い膳の充実とともに季節感を感じていただける工夫を行い、おいしく食べていただけるよう努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○摂食状況の調査		推進	推進	推進	推進	推進
○行事食や祝い膳の充実		推進	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	積極的に摂食状況調査を実施するとともに行事食にはより季節の気配り等 を加え患者さんに全部食べていただける食事の提供に努めた。					
	進行度の評価	B				

推進項目 18	三好病院及び海部病院における療養環境の充実	所管部局	三好病院			
内 容	三好病院及び海部病院においては、個室の改装や設備改修により快適性の向上を図るとともに、個室数の増加について検討します。 また、患者さんのプライバシーへの配慮や老朽化した施設・設備の修繕については、患者さんからの要望やアメニティ向上への効果を優先して実施します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○個室の改装や設備改修		推 進	推 進	推 進	推 進	推 進
○個室数の増加		推 進	推 進	推 進	推 進	推 進
○患者さんのプライバシーへの配慮		推 進	推 進	推 進	推 進	推 進
○老朽化した施設・設備の修繕		推 進	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度では、3箇所のトイレについて洋式（ウォシュレット）化の改修工事を実施した。（平成22年度では4箇所のトイレについて改修を予定している。）					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 19	各種病院サービスにおける利便性の向上	所管部局	三好病院			
内 容	病院を利用される方の利便性の向上に向けて、サービスの導入や充実を検討します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○売店については、コンビニエンスストアの導入や、営業時間の延長・品揃えの充実を検討する ○会計待ち時間短縮を図るための自動精算機の導入と診療費用のクレジットカードによる支払い、及びコンビニエンスストアでの支払いなどの実施について検討する		検討	検討	検討	実施	推進
		未定	検討	検討	実施	推進
平成21年度の 主な推進状況	売店については申し入れを行っているが、実現には至っていない。 会計については現在のところ未定であり検討はしていない。					
	進行度の評価	C				

課題 20	県立病院の医療機能を最大限に発揮する、継ぎ目のない連携体制構築	所管部局	三好病院			
内 容	「地域の医療機関の機能分化と連携による、必要な医療を切れ目なく提供する体制の構築」を旨とし、県立病院と地域医療機関との連携をより一層強化します。 また、連携を促進するため、患者さんの治療開始から終了までの全体的な治療計画である「地域連携クリティカルパス」の運用を積極的に進めるとともに、広域でのパスの統一化に努めます。 さらに、医療・保健・福祉の領域を超えた連携をリードする地域医療連携部門のスタッフ（看護師・事務・MSW・PSW等の職種）を充実し、関係各機関との調整能力を高めます。【目標項目】					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○「地域連携クリティカルパス」の積極的運用		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
○地域医療連携部門のスタッフの充実		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
○紹介率・逆紹介率【平成24・25年度】 紹介率60％，逆紹介率30％		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	地域医療機関との連携による機能分化と協力体制を構築するため、三好病院・つるぎ町立半田病院・三好市国民健康保険市立三野病院の間で、「徳島県西部保健医療圏における適正な医療を確保するための協定書」に基づいた連携・協力を実施した。また、委員会において地域連携クリティカルパスの導入に向けた検討を行うとともに、平成21年10月より運用を開始し、脳神経外科で11名の適用を実施した。また、地域医療連携部門において臨時補助員1名を配置することによりスタッフの充実を図ったが、紹介率等への反映には繋がっていない。 ○紹介率・逆紹介率【平成21年度】 紹介率26％，逆紹介率36％					
	進行度の評価	C				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 21	医療の標準化に資するクリティカルパス（入院診療計画）の活用促進	所管部局	三好病院			
内 容	一定の症例について、院内の医療の標準化ツールとして院内で作成・適用しているクリティカルパスについても、院内多職種による連携を図りつつ、適用数の増加に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○クリティカルパスの活用促進		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度は電子カルテ導入により前半は紙パスから電子カルテに移行のための作業を行った。電子カルテでの運用が思い通りに進まず機能として有効活用できなかった。パスの種類は循環器が9種類、消化器が3種類、産婦人科5種類、眼科2種類、放射線科9種類で計28種類である。適応率は全体で18％である。心臓カテーテル検査、ペースメーカー埋め込み、PCI、白内障手術、産婦人科手術では90～100％である。現在外科系のパスを紙から電子化に作成を見直し入力している。以上のように紙媒体を電子化するだけで運用は統一されておらず、質の評価向上に向けて今後有意義に活用されるよう進めていきたい。					
	進行度の評価	C				

課題 22	医療安全文化の確立		所管部局	三好病院			
内 容	医療安全管理者（医師）を中心とした医療事故の発生の予防，発生した事故の影響拡大等の防止を確立し，県立病院における医療安全文化の醸成に努めます。 また，医療安全管理者（医師）に対する安全管理の業務を行うことを目的とした医療安全管理者研修会の受講機会を確保するとともに，院内での苦情や事故後の対応の際に，患者側との対話を円滑に行えるスキルの養成を図ります。						
実 施 概 要			21	22	23	24	25
○医療安全文化の醸成に対する努力 ○医療安全管理者研修会の受講			推 進 実 施	推 進 実 施	実 施 実 現	実 施 実 現	実 施 実 現
平成21年度の 主な推進状況	医療安全文化の全院的な広がり、医療事故の未然防止の徹底を図るため、各部署に設置したセーフティ・マネージャーの活動の活性化に努めると共に、年2回の全体研修のほか、医療事故想定訓練を実施した。 医療安全管理者取得研修に職員（看護師）を派遣し、活動推進の核となる者の増員を図った。						
	進行度の評価		B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 23	病院機能評価の更新受審	所管部局	三好病院			
内 容	各病院の機能を第三者が多角的に評価する、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価については、既に全病院が受審し認定を受けておりますが、さらに新たな評価項目が加わった Ver. 6. 0 による再認定を受けるため、各病院が組織的に基準達成に向けた取り組みを行います。 [目標項目] → [医療の透明性の確保]					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○病院機能評価の更新受審 【平成 2 2 年度】		実施	推進			
平成 2 1 年度の 主な推進状況	更新受審を目指し、委員会を開催し職員への啓発等に努めた。 また、研修にも幹部職員を派遣し受審に向けての気運の醸成に努めた。					
	進行度の評価		B			

課題 24	品質管理のための教育・研修の充実		所管部局	三好病院			
内 容	「医療は製品である」という認識の下、医療安全管理・院内感染対策等において安全・安心な医療を提供できるように、全体研修並びに個別研修を充実し、品質の保証に取り組めます。						
実 施 概 要			21	22	23	24	25
○全体研修並びに個別研修を充実			実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	医療安全管理に関しては年2回、感染管理については年1回それぞれ全職員対象の研修会を実施し職員の啓発に努めた。 また生命維持装置の取り扱いの重要性に鑑み全看護師に研修を行った。						
	進行度の評価		B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 25	三好病院・海部病院での地域医療研修の実施		所管部局	三好病院		
内 容	地域に密着した医療を実践する場である三好病院及び海部病院と急性期機能を持つ中央病院が一体となった研修プログラムを策定し、地域医療の担い手の育成に努めます。 また、三好病院及び海部病院においては、今後も引き続き徳島大学と協力し、学生実習の受入や地域医療研究に積極的に貢献します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○学生実習の受入		実施	推進	推進	推進	推進
○地域医療研究への積極的な貢献		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	徳島大学より臨床研修医の受入を実現している。					
	進行度の評価	B				

課題項目 31	質の高い看護の提供を目指した、キャリアラダーによる研修の実施		所管部局	三好病院			
内 容	看護師の意欲を高め、専門性を高めるために、卒後のキャリアに応じてレベルを高める、看護師キャリアラダーによる研修制度を確立します。						
実 施 概 要			2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○看護師キャリアラダーによる研修制度の確立			実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の主な推進状況		院内研修においては新規、中途採用者1年目に対して7～8回専門的トピックス的内容で15～20回の研修会を行った。院外研修は6年目以降で専門的トピックス的管理に対しての受講が各20回前後となっている。 研修報告は伝達講習を6回開催した。					
		進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 32	各職種の専門性を高める資格取得や研修受講の促進	所管部局	三好病院			
内 容	各県立病院がそれぞれの担うべき機能に応じ研修方針・研修計画を策定し、各職種の資格取得を推進するとともに、取得後の技術・ノウハウ活用を図ります。 [目標項目]					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○資格取得を推進 認定看護師数 【平成25年度】 病院事業全体で12名		検討	実施	推進	推進	推進
○資格取得後の技術・ノウハウの活用		実施	実施	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	現在は1名の感染管理認定看護師がいる。院内感染防止のリーダーとして委員会活動のみならず、院内職員の教育指導にあたり感染対策の質の向上に貢献している。(平成22年4月から皮膚・排泄ケア認定看護師の資格取得のために養成課程を受講中である。)					
	進行度の評価	B				

課題 33	県立病院学会の実施による知識の向上と共有		所管部局	三好病院			
内 容	各県立病院職員が一堂に会して日頃の研究成果を発表する「県立病院学会」を引き続き開催し、職員の相互交流と知識の向上・共有を図ります。						
実 施 概 要			2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○「県立病院学会」の開催			実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度県立病院学会実行委員会に参画し、第4回県立病院学会を開催した。当院からは、学会長である余喜多院長をはじめ、39名が参加し、坂本医療局長（当時）が座長を務めたほか医療技術局（薬剤科）等3演題の発表を行った。						
	進行度の評価	B					

●医療の質の確保における進捗状況

課題項目 34	先進病院に対する派遣研修の実施		所管部局	三好病院		
内 容	県立病院の核となる医療機能の発揮に向けて、救急医療・がん医療などにおける先進病院への派遣研修を実施します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○先進病院への派遣研修の実施		実施	実施	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度専門分野（がん・糖尿病）における質の高い看護師育成研修のために徳島赤十字病院、徳島大学病院に1名ずつ派遣した。 （平成22年度は集中治療分野における看護の質向上のために徳島大学病院へ1名を派遣する）。					
	進行度の評価	B				

推進項目 35	育児と仕事の両立支援	所管部局	三好病院			
内 容	育児短時間勤務制度の活用など、職員の育児と仕事の両立を図ることのできる環境整備に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○育児短時間勤務制度の活用等 育児休業者に制度の周知 制度の活用		実施 実施	実施 実施	実施 実施	実施 実施	実施 実施
平成21年度の 主な推進状況	育児休業に入る職員には、育児短時間制度の周知は行っているが、今までは、育児休業復帰の際保育所日勤帯は 保育所に預けられる環境にあったり、看護師の場合深夜でも同居の親族にみてもらったりできる環境にあるので、育児短時間勤務制度の利用はない。 今後、育児休暇から復帰する者からの要望があれば取得推進をはかりたい					
	進行度の評価	B				

●医療の透明性の確保における進捗状況

課題 1	D P C（診断群分類別包括評価制度）の導入による医療の透明性の向上	所管部局	三好病院			
内 容	D P Cの導入により明らかになるMDC（主要診断群）別の患者数の他、傷病・診療行為（手術・処置等）のデータを解析し、各病院の入院診療に係る実績として公開に取り組みます。 [目標項目]					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○D P Cの導入【平成23年度】 ○D P C解析データの公開		検討 検討	実施 実施	実施 実施	推進 推進	推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度においては、電子カルテシステムの本稼働から間もなく、D P C導入の影響評価に係る調査への新規参加ができなかった。 （平成22年度においては、D P C導入の影響評価に係る調査への新規参加をすることにより、平成24年度からD P C対象病院としてD P Cによる診療報酬の請求ができるようにする。）					
	進行度の評価	D				

課題 2	県立病院の医療の質や提供状況がわかる臨床指標の公開（再掲）	所管部局	三好病院			
内 容	患者さんの選択に役立つことや税が投入された病院としての成果を示すため、がんの術後生存率、手術後の死亡率、疾病別手術件数、術後在院日数等、診療の結果や治療成績などの実績について、ホームページでの公開に取り組みます。 〔目標項目〕					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○臨床指標のホームページ公開 【各病院】平成 2 1 年度から実施		検討	検討	実施	推進	推進
平成 2 1 年度の 主な推進状況	平成 2 1 年度においては、診療情報管理士が長期休暇を取得したことから、全く取り組めていない。 （平成 2 2 年度においては、他病院における事例や公表の状況を見ながら、どのような項目を臨床指標（クリニカル・インディケーター）として設定するかを検討していく。）					
	進行度の評価	D				

●医療の透明性の確保における進捗状況

課題項目 3	患者さんと一体となった医療を実践する「私のカルテ」の発行	所管部局	三好病院			
内 容	患者さんの理解を助け、また、他の医療機関受診時の診療情報の共有にも役立てていただくため、医師診療録・看護記録・検査結果などを「私のカルテ」として発行することに取り組みます。 [目標項目]					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「私のカルテ」の発行 【平成22年度】		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	患者さん自ら病気への関心を高め、情報を共有し健康管理ができるよう、平成22年3月から小児科で「私のカルテ」の発行を開始した。					
	進行度の評価	B				

課題 4	病院事業経営内容の公開	所管部局	三好病院			
内 容	病院事業の決算内容や医療の質・透明性・効率性の向上に向けた取り組み内容について、今後も引き続き、ホームページを活用して積極的に公開します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○決算内容や取り組み内容についてのホームページ公開		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	経営戦略会議に住民代表が参加することにより経営状況をはじめ各取り組み状況について公開されている。 またホームページにより決算内容が広く公開されている。					
	進行度の評価	A				

●医療の透明性の確保における進捗状況

課題 5	各県立病院毎の「住民参加会議」の開催	所管部局	三好病院			
内 容	医師の疲弊と離職を防ぐため、各病院で開催される経営戦略会議等に、地域住民によって設立された団体等の代表者が参加する「住民参加会議」を引き続き開催し、県立病院の現状を明らかにするとともに、地域医療を共に考え、共に支えていただけるような関係づくりを行います。 また、地域団体の研修会等に積極的に出向き、病院運営の現状を説明します。 〔目標項目〕					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○経営戦略会議への住民参加 【各病院】継続して実施		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	経営戦略会議への住民代表の参加及び地域住民の研修会に出席することにより三好病院の現状を理解していただくとともに病院に対する率直な意見をいただき医療の透明性の確保に努めている。					
	進行度の評価	A				

課題 6	県民公開講座及び院内健康教室の開催		所管部局	三好病院		
内 容	各病院それぞれの機能の特性に応じ、患者さんや住民の皆様を対象とした疾病・療養に関する「県民公開講座」並びに「院内健康教室」を開催します。 〔目標項目〕					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「院内健康教室」の開催 【毎月2回】		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	患者さん、地域の皆さんを対象に「糖尿病教室」を月1回のペースで実施した。					
	進行度の評価	B				

●医療の透明性の確保における進捗状況

課題 7	病院広報の充実	所管部局	三好病院			
内 容	病院局及び各病院のホームページを充実し、患者さんには地域医療連携の重要性や必要性等、医療についてわかりやすく説明するとともに、病院の姿が実感できる、親しみやすい情報の提供に努めます。 また、他の医療機関、将来医療を志す方等に向けては、診療機能や臨床研修に関する情報提供を充実します。 さらに、各病院広報誌や各自治体広報誌を通じた情報提供も積極的に実施します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○ホームページの充実 ○各病院広報誌や各自治体広報誌を通じた情報提供		実 施 実 施	推 進 推 進	推 進 推 進	推 進 推 進	推 進 推 進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度においては、ホームページの見直しをし、病院統計の掲載を追加した。 (平成22年度においては、引き続き、ホームページの更新及び広報誌の発行に努めるとともに、より良い情報を提供していくようにする。)					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 2	各病院の機能整備の動向に即した施設基準の取得	所管部局	三好病院			
内 容	計画期間における各病院が担うべき医療機能の整備動向に即した、診療報酬上の施設基準の取得を図るとともに、診療報酬改定への迅速な対応や、DPC（診断群分類別包括評価）における最適な請求など、適切な診療収益の確保に努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○診療報酬改定への迅速な対応		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
平成 2 1 年度の 主な推進状況	平成 2 1 年度においては、医師事務作業補助体制加算（5 0 対 1 補助体制加算）、亜急性期入院医療管理料 1 及び臨床研修病院入院診療加算の施設基準を取得した。 （平成 2 2 年度においては、診療報酬改定の状況を見極めながら、当院の医療機能の整備動向に即した施設基準を取得していく。）					
	進行度の評価	B				

課題 3	地域連携・機能分担の実情に応じた新規患者の受入	所管部局	三好病院			
内 容	中央病院及び三好病院については、いずれも核となる医療機能として急性期医療機能の発揮を目ざし、診療圏内の地域医療機関との連携により、新規入院患者数の増加を図ります。 [目標項目]					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○一般病床平均在院日数 18.0日 【平成25年度】		実 施	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	社会的要請や医療・保健環境の特性に応じる地域中核病院機能の取り組みとして、つるぎ町立半田病院・三好市国民健康保険市立三野病院の間で、「徳島県西部保健医療圏における適正な医療を確保するための協定書」を締結し、3病院間の協力体制を実施している。 また、急性期医療分野での機能を十分に果たすためには、今後も引き続き診療圏内の病院及び診療所との連携に向けた検討・協議を行うとともに、医師の確保に向けた取り組みを強化する必要がある。 ○一般病床平均在院日数 19.2日 【平成21年度】					
	進行度の評価	C				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 4	診療報酬請求漏れの防止	所管部局	三好病院			
内 容	各病院における総合医療情報システムの有効活用により、ヒューマン・エラーによる請求漏れを防止します。 また、各病院において院内各部門と医事委託業者から構成されるレセプト委員会を毎月開催し、診療報酬請求の精度向上を図ります。 なお、既に実施している中央病院に引き続き、三好病院及び海部病院においてもレセプトオンライン請求による効率的な請求を実施します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○総合医療情報システムの有効活用 ○毎月のレセプト委員会の開催 ○レセプトオンライン請求の実施		実 施 実 施 実 施	推 進 推 進 推 進	推 進 推 進 推 進	推 進 推 進 推 進	推 進 推 進 推 進
平成 2 1 年度の 主な推進状況	平成 2 0 年度末に導入した総合医療情報システムにより診療情報提供料の請求漏れが減少した。注射の未実施リストも毎日点検することにより注射料の請求漏れが減少した。また、複数科受診時の初診料も請求できるようになった。 レセプト委員会も毎月開催し、診療報酬請求の精度向上を図っている。 平成 2 1 年度（平成 2 2 年 1 月）からはレセプトのオンラインによる請求を開始することができた。					
	進行度の評価	B				

課題 5	使用料・手数料設定の見直し	所管部局	三好病院			
内 容	各病院における使用料・手数料については、健全経営の確保を踏まえた原価を反映した上、周辺の公的医療機関との均衡等も勘案し、適切な料金設定を行います。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○適切な料金設定		検討	検討	検討	実施	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度においては、使用料・手数料設定の見直しは行わなかった。 （平成22年度においては、本院が地域医療支援病院になることを目指していることや、他院の状況を踏まえ、特別初診料（750円）の見直しを検討していきたい。）					
	進行度の評価	D				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 7	後発医薬品の採用拡大	所管部局	三好病院			
内 容	後発医薬品の採用については、患者さんの負担軽減とともに、薬品費の削減に繋がるため、積極的に採用を増やします。 [目標項目]					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○後発医薬品購入額割合 【各病院】薬品購入額の10% 【平成25年度】		推 進	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度末では、購入金額で1.2%の後発医薬品を採用した。					
	進行度の評価	B				

課題項目 8	委託契約・賃借契約における効率的な契約の実施	所管部局	三好病院			
内 容	各病院における委託契約・賃借契約については、委託業務内容・賃借契約内容と金額のバランスを検証し、効率性と品質管理の両面から見直しに努めます。 また、複数年の継続契約、一括委託契約（複数業務を集約した、包括的な委託契約）、3病院を統一した一括契約等についても、積極的に実施します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○委託契約・賃借契約についての見直し		推 進	推 進	推 進	推 進	推 進
○複数年の継続契約、一括委託契約の実施		推 進	推 進	推 進	推 進	推 進
○3病院を統一した一括契約等の実施		推 進	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	感染性医療廃棄物の処理業務について、収集運搬・処分業務及び消耗品の3つに分かれていた契約を1つにまとめて単価契約とした。 電話交換業務、駐車場整理業務委託については随意契約から一般競争入札に見直しを行い経費の削減に努めた。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題項目 9	医療器械購入における競争入札の推進		所管部局	三好病院		
内 容	一般の医療器械については、今後も特別な理由があるものを除き、競争入札により購入します。 また、高額医療器械については、保守経費も含めた一般競争入札の他、総合評価一般競争入札の実施を検討し、総合的なコスト抑制や品質の確保を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○一般競争入札、総合評価一般競争入札の実施		推 進	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度からは、30万円を超える医療器械の購入について全て指名競争入札とした。					
	進行度の評価	B				

課題 10	ホテルサービス部門及び事務・管理業務等の委託化	所管部局	三好病院			
内 容	給食・清掃・洗濯等のホテルサービス部門については、職員の転出先にも配慮しつつ、外部委託に積極的に取り組みます。 また、検体検査業務、滅菌材料室、院内施設維持管理、一般事務等についても、引き続き外部委託に取り組みます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○ホテルサービス部門の外部委託 ○一般事務等の外部委託		検 討 検 討	検 討 検 討	推 進 検 討	推 進 推 進	推 進 推 進
平成21年度の 主な推進状況	今後、可能なものについては更なる外部委託に取り組み経費の節減を図って いきたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 11	未収金の発生防止と回収促進	所管部局	三好病院			
内 容	患者さんの診療費用については、24時間会計の実施や支払い相談の充実等により、未収金の発生防止に努めます。 また、未収金が発生した場合には、速やかに支払い督促を実施し、納入指導の徹底により、回収不能債権の発生防止に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○24時間会計の実施 ○支払い相談の充実 ○速やかな納入指導の徹底		検 討 実 施 実 施	推 進 推 進	推 進 推 進	推 進 推 進	推 進 推 進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度においては、従来通り、生活に困窮している患者などの支払い相談には医療相談室等において対応した。また、未収金が発生した場合には、速やかに支払い督促を実施し、納入指導の徹底により、回収不能債権の発生防止に努めた。 24時間会計については、専門性が高く、今後とも不可能であると見込んでいることから、計画変更の必要がある。					
	進行度の評価	C				

課題 12	業務改善の手段としての情報化の推進	所管部局	三好病院			
内 容	各病院で導入している電子カルテをはじめとする病院総合情報システムの使用にあたっては、能力を最大限に使用し、その効果である効率性の発揮に努めます。 また、院内の情報化を組織的に推進するために、院長のリーダーシップの下、情報化委員会主導によるシステム整備と一元的管理に努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○病院総合情報システムの最大限の活用 ○情報化委員会主導によるシステム整備と一元的管理		実 施 実 施	推 進 推 進	推 進 推 進	推 進 推 進	推 進 推 進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度においては、情報システム委員会で病院総合情報システムの使用に当たっての問題点等を検討し、システムベンダーに対して改善を要望した。重要事項については情報システム委員会から院長に協議し、院長と委員会が一体となって情報システムの整備と一元的管理に努めた。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 14	経営戦略会議の充実		所管部局	三好病院			
内 容	本局及び各病院で開催している経営戦略会議について、病院局本局職員と各病院の幹部職員が、環境変化に迅速に対応し、戦略的な取り組みを議論する場として、また、各病院職員が経営問題を共有する場として引き続き実施し、内容を充実します。						
実 施 概 要			21	22	23	24	25
○経営戦略会議の内容の充実			実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	幹部職員のみならず職員の自由な参加により、すべての職員が経営問題について共有することができている。						
	進行度の評価		A				

課題項目 15	幹部職員の経営管理力の向上		所管部局	三好病院		
内 容	各病院における管理者会議で、各病院経営における重要案件を議論し、病院幹部職員が一丸となって経営に取り組みます。 また、各病院の幹部職員や中堅職員に対して、経営分析力や経営企画力を高める合同研修を実施し、マネジメントに長けた職員の育成に努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○幹部職員や中堅職員に対する経営分析力や経営企画力を高める合同研修の実施		検 討	実 施	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	1 週間に1回管理会議を開催し、重要案件についてはその場で検討を行っており、幹部職員が共通の問題意識を持って取り組むようなシステムを構築している。 また、幹部職員が常に経営意識をもって望むようにするため、管理会議においては、入退院患者数、救急患者数等ポイントとなる数値を毎週報告している。					
	進行度の評価	C				

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 16	D P C（診断群分類別包括評価）データ活用による経営分析の実施		所管部局	三好病院			
内 容	D P Cの運用から得られる自院の診療データ及び厚生労働省から公表される統計データの分析を行い、医療の質の向上・コスト削減・経営戦略策定等に積極的に活用します。						
実 施 概 要			2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○診療データや統計データの分析、活用			検討	実施	実施	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度においては、電子カルテシステムの本稼働から間もなく、D P C導入の影響評価に係る調査への新規参加ができなかった。 （平成22年度においては、D P C導入の影響評価に係る調査への新規参加をすることにより、平成24年度からD P C対象病院としてD P Cによる診療報酬の請求ができるようにする。この課程において、できるものについては、統計データの分析を行い、医療の質の向上・コスト削減・経営戦略策定等に積極的に活用する。）						
	進行度の評価	D					

課題 17	目標設定とPDCAサイクルによる進行管理の推進	所管部局	三好病院			
内 容	各課・各診療科・各部門等において明確に目標を設定し、PDCAサイクルによる進行管理に努めるとともに、QC（クオリティ・コントロール：品質管理）活動やBSC（バランス・スコアカード：多元的な業績評価システム）の浸透を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○各課・各診療科・各部門等における目標設定		実施	推進	推進	推進	推進
○PDCAサイクルによる進行管理		実施	推進	推進	推進	推進
○QC活動 やBSCの浸透		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	各部門ごとに目標を設定し、PDCA サイクルによる進行管理を行うことにより各業務の品質管理を徹底し、医療の効率性の確保に努めている。					
	進行度の評価	A				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題項目 18	全部門による実績報告・目標発表会の実施		所管部局	三好病院		
内 容	職員の任用形態や委託職員の区別無く、病院内の全ての職員の一体感の醸成と経営認識の向上を図るために、前年度の実績報告と当年度の課題・目標について院内で発表する「実績報告・目標発表会」を行います。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「実績報告・目標発表会」の実施		検討	実施	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度は電子カルテの導入に伴う業務の混乱により発表会が開催されなかった。 (平成22年度は7月に開催する予定で準備中である。)					
	進行度の評価	A				

課題 19	堅実な危機管理体制の構築	所管部局	三好病院			
内 容	各病院職員が救急勉強会、A C L S、B L S、A E D講習会等救急に関する研修を定期的に行い、スキルアップを図ることにより、院内での急変時の対応や災害発生時の患者受け入れ体制を強化します。 また、災害拠点病院である各病院においては、大規模災害や新型インフルエンザ等の災害事象発生を想定した実践的な訓練や研修実施に取り組むとともに、災害対策マニュアルの改訂を行います。 さらに、病院局全体が組織的に迅速な行動が実施できるよう、各病院と病院局本局との連携体制の堅持に努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○救急に関する研修会の実施 ○災害事象発生を想定した実践的な訓練や研修の実施 ○災害対策マニュアルの改訂 ○各病院と病院局本局との連携体制の堅持		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度 主な推進状況	救急勉強会、A C L S推進チーム、B L S、A E D講習会等を定期的に行い、トリアージ訓練、災害図上訓練、傷病者受入訓練を実施した。 また、徳島県国民保護共同実働訓練に医師、看護師を派遣した。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題項目 21	3 病院の診療面の連携・協調		所管部局	三好病院		
内 容	これまでも、三好病院及び海部病院における常勤医師不足に対して、「県立病院は三つでひとつ」の考えの下、中央病院の医師等による、応援診療・電子化された撮影画像の読影・病理検査などの支援を行ってきました。 今後も、三好病院及び海部病院における医師不足が解消されるまでの間は、同様の支援を実施するとともに、中央病院における救急機能の強化に併せて、三好病院及び海部病院で対応できない救急患者の診療連携に取り組みます。 また、中央病院で高次の治療を行ったがん患者について、より自宅近くで療養できる場合に、三好病院及び海部病院での受け入れを進めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○中央病院の支援 ○3病院の連携		実 施 実 施	推 進 推 進	推 進 推 進	推 進 推 進	推 進 推 進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度においては、中央病院の外科医4名が3か月ごとに本院外科の診療支援を行ってきた。 中央病院で高次の治療を行ったがん患者については、より自宅近くで療養できる場合は、三好病院で受け入れを行った。 (平成22年度においては、がん治療連携指導料(肺がん)の施設基準について、中央病院を計画策定病院とし、本院は連携保険医療機関となったことから、より一層の連携を図っていく。また、中央病院における救急機能の強化の進捗状況を見極めながら、救急患者の搬送等を図っていく。)					
	進行度の評価	B				

課題 22	資産等購入における共同化の拡充	所管部局	三好病院			
内 容	各種の器械・材料・消耗品等の購入については、今後も引き続き共同化のメリットを追求し、効率化に努めます。 なお、総合メディカルゾーンの機能連携の一つとして、徳島大学病院との医薬品及び医療材料の共同購入について検討します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○高額医療器械（同種器械の一括入札推進、同一メーカー器械の一括入札検討）		検 討	推 進	推 進	推 進	推 進
○医薬品		実 現	推 進	推 進	推 進	推 進
○医療材料（使用品目の絞り込みと共同購入対象品目数の拡大）		推 進	推 進	推 進	推 進	推 進
○その他（主要給食材料・消耗品・燃料等）		検 討	推 進	推 進	推 進	推 進
平成21年度の 主な推進状況	医療材料については、平成21年度では31品目を共同購入した。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題項目 23	経営指標	所管部局	三好病院			
内 容	経営指標のうち経常収支比率・職員給与費対医業収益比率・病床利用率（精神病床を除く）については、公立病院改革ガイドラインの規定により平成23年度を目標値として取り組みます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○経常収支比率 99.0％ ○病床利用率（精神病床を除く）82.0％ ○職員給与費対医業収益比率58.0％ 【平成23年度】		推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進		
平成21年度の 主な推進状況	経常収支比率については目標を達成できた。次年度以降も経常黒字となるよう努めていきたい。 病床利用率については、入院患者の減少から目標を下回った。 職員給与費対医業収益比率は給与費が減少したため目標数値を上回った。					
	進行度の評価	B				

海部病院分

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 1	がん診療	所管部局	海部病院			
内 容	手術・化学療法・放射線治療による質の高い治療を実施します。また、がん患者及び家族のQOL向上を図るとともに、病院内のがんに関するデータを把握する「院内がん登録」に取り組みます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○質の高い治療を実施 ○がん患者及び家族のQOL向上 ○「院内がん登録」		実施 実施 検討	推進 推進 検討	推進 推進 検討	推進 推進 実施	推進 推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	薬剤室内にミキシングルームを設置するとともに、専任の薬剤師を配置し、厳重な衛生管理の下、抗がん剤の調剤を開始した。これに伴い、外来化学療法室に看護師を専任配置し、患者のみならず医療従事者にとっても、より安全で安心な化学療法が行えるようになった。 終末期がん患者に対し、10月に訪問看護を、11月に訪問リハビリをそれぞれ開始した。患者さんや家族の希望に沿った医療が行われるようになり、がん患者及び家族のQOLの向上に繋がった。グリーフケア(遺族の悲嘆のケア)も行っている。 また、地域医療センターのスタッフが退院調整を行う中で、適切な情報提供や傾聴により多種多様な悩みや不安を抱えるがん患者や家族の経済的・精神的負担の軽減が図られている。 しかし、院内がん登録は進んでいない。今後、登録を行うよう努力していきたい。また、訪問看護等に加え訪問診療や緩和委員会の設置、がんサロンの開始など質の高い治療とがん患者及び家族のQOLの向上については引き続き充実させていきたい。					
	進行度の評価	B				

課題 2	脳卒中及び急性心筋梗塞診療	所管部局	海部病院			
内 容	救急・急性期分野を中心とした治療を実施します。また、地域連携クリティカルパスの運用に取り組み、地域における医療・福祉機関と円滑な連携を図ります。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○地域連携クリティカルパスの運用 ○地域における医療・福祉機関との円滑な連携		実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	平成 21 年度には、対象病院(徳島赤十字病院)から脳卒中連携パスの患者を5名受け入れ連携を図った。 地域の医療・福祉機関との連携については、在宅療養支援担当者会議を毎月開催し、在宅復帰に向けての問題点等を話し合い、在宅支援について検討をした。その他、地域医療連携担当者意見交換会を開催し、施設や海部郡内のケアマネージャー等と顔の見える関係づくりを行った。 また、周産期保健医療問題意見交換会を定期的に(年3回)開催した。 引き続き、地域との円滑な連携を図っていきたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 3	糖尿病診療	所管部局	海部病院			
内 容	急性増悪時の治療を実施するとともに、各職種による指導により、患者さんの日常生活・療養面の改善に貢献します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○各職種による指導により、患者さんの日常生活・療養面を改善		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成 21 年度における糖尿病診療は、低血糖や高血糖の急性増悪時は救急外来での受入れから始まり、入院治療・リハビリテーションと社会復帰までの医療を行った。また、多職種による月 4 回の「生活習慣病教室」を通じて良好な日常生活を送られるように支援するとともにフットケアも開始した。 今後は、糖尿病認定看護師を養成し、より専門性の高いチーム医療を行い、糖尿病患者の QOL の向上に貢献していきたい。					
	進行度の評価	B				

課題 4	高度医療の充実	所管部局	海部病院			
内 容	高度技術を要する内視鏡医療やインターベンション医療（連続血管撮影装置等を利用した血管内治療法）の積極的推進を図ります。また、高度医療器械を効率的に使用し、地域医療連携として積極的活用を図ります。 <主な高度医療器械> 【海部病院】内視鏡・CT・MRI					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○高度医療の積極的推進		実施	推進	推進	推進	推進
○地域医療連携としての積極的活用		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	高度医療を積極的に推進するため、CTを16列マルチスライスCTに更新し、従来に比べ短時間で高精細な画像や3D画像を提供することが可能になった。 地域医療連携として、高度医療器械(CT、MRI)を、平成21年度には前年度よりも6.8%増の158件活用した。 今後は、この新しいCTを積極的に活用していきたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題項目 6	医師確保機能の強化		所管部局	海部病院		
内 容	各病院の常勤医師の不足が続く状況においては、病院事業管理者を補佐し、医師確保に係る企画・情報収集・交渉等を行う機能を充実するほか、研修医確保のための企画立案や各病院との調整を図るなど、全組織を挙げた医師確保機能の強化に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○全組織を挙げた医師確保機能の強化		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	「地域医療を守る会」との連携を図り、将来、医学生が海部病院で働きたいとの好印象を持ってもらえるよう、研修発表会への多数の住民参加を求めるなどの活動を行った。 また、徳島大学が行う「徳島大学海部プロジェクト」が成功するよう、地域の医療機関、消防組合等に呼びかけを行い、急性期の脳卒中患者、心筋梗塞患者のデータの収集に協力をした。（現在も当院分のデータを提供中） 今後も、医学生や徳島大学に対し、海部地区の現状を認識してもらうことにより、常勤医師の派遣につなげていけるようアピールを続けたい。					
	進行度の評価	B				

課題目 7	医師の安定確保に向けた条件整備	所管部局	海部病院		
内 容	救急部門における件数増加に伴う医師の過重労働や、病院全体の医師数減少に伴う負担が増加している状況において、医師の負担軽減とモチベーション向上につながる改善を実施することにより、今後の医師の離職防止に努めます。				
実 施 概 要	21	22	23	24	25
○医師事務作業補助員の効果検証とともに、各補助員の能力向上を図り、積極的に活用 ○医師公舎等の居住環境の改善 ○資格取得や研修等の自己啓発に一定期間集中できる、自己啓発等休業制度の活用が図られるような環境整備に努める ○地域医療を自ら守ろうという趣旨で活動する団体や地元自治体と連携を強め、医師の離職防止を図る	実施	推進	推進	推進	推進
	実施 検討	推進 検討	推進 検討	推進 実施	推進 推進
	実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	医師公舎の浄化槽設備の改修などを行い、居住環境を改善した。また、「地域医療を守る会」や海部病院ボランティア「さくらの会」との連携により医師の離職防止に努めた。 今後も、医師の安定確保に向けた条件整備に努めていきたい。				
進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題項目 10	今後の医療の質の向上に資する専門職種の適正な確保	所管部局	海部病院			
内 容	地域医療連携の推進にあたり、重要な役割を果たすMSW（メディカルソーシャルワーカー）・精神保健福祉士（PSW）、医療機器の安全管理の向上を図るための臨床工学技士について、適正な確保を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○MSWの確保 ○精神保健福祉士（PSW）の確保 ○臨床工学技士の確保		検討 不用 検討	検討 不用 検討	検討 不用 検討	実施 不用 実施	推進 不用 推進
平成21年度の 主な推進状況	地域医療連携業務、退院支援業務、各種相談業務等、MSW の必要性は年々増している。また、22年度からは、施設基準において、少額ではあるが、MSW の配置が加算の対象となってきた。当院においても、専門職として有効に活用できる体制をつくり、早い段階での配置について協議していきたい。 医療機器の性能向上により、その使用及び管理業務は年々難しくなっている。現在、看護師等が医療機器を取り扱っているが、医療安全面から今後、臨床工学技士の配置の必要性について協議していきたい。					
	進行度の評価	C				

課題 11	医療の質を示す臨床指標（クリニカル・インディケーター）の設定	所管部局	海部病院			
内 容	県立病院における診療の結果や治療成績などの実績を適切に評価し、担うべき医療機能への貢献度の測定や、院内での研修方針への活用、また、県民へ情報開示することを目指して、臨床指標設定のためのデータ収集や分析に取り組みます。 [医療の透明性の確保で再掲載]					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○臨床指標設定のためのデータ収集や分析への取組		検討	検討	実施	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年7月にDPCを導入した。今後、DPCデータから得られる臨床指標のベンチマーク分析に取り組んでいきたい。また、院内がん登録の検討を行うとともに外来患者の統計データの収集に努力していきたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 12	患者さん中心のチーム医療の実践	所管部局	海部病院			
内 容	患者さんを中心として、全ての職種が、フライン・チームワークを発揮しスペースを埋めながら医療を行う「チーム医療」に、今後も引き続き取り組みます。 また、各チーム合同によるカンファレンスや研修会を積極的に実施します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「チーム医療」の推進 ○各チーム合同によるカンファレンスや研修会の実施		実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	多職種間のスペースを埋める連携(検査技師による早朝採血、放射線技師によるフィルム配達、薬剤師による持参薬チェックや保管等)や情報交換、カンファレンスにより、患者さんに効率的で質の高い医療が提供できるよう努力した。また、チームによる訪問医療の開始や生活習慣病教室の定期開催などを行った。 今後は、医師不足により十分実践できなかったチーム・委員会活動(NST、ICT、緩和ケア委員会、クリニカルパス等)を強化し、患者さん中心のチーム医療を推進していきたい。					
	進行度の評価	B				

課題 13	患者さんのQOL（生活の質）を高める、各職種による指導・活動の推進	所管部局	海部病院			
内 容	各職種の職員が、それぞれ有する専門的能力を発揮し、患者さんのQOL（生活の質）を高め、回復力・予防力の向上に貢献する指導や相談事業等を積極的に実施します。【目標項目】					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○薬剤管理指導件数【平成25年度】2,400件		実施	推進	推進	推進	推進
○栄養管理指導件数【平成25年度】180件		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	医師不足による入院患者数減や認知症等管理指導を必要としない患者が増えたことなどにより、薬剤管理指導件数は、対前年度比 68.7%の 1,386 件(20 年度 2,018 件)、栄養管理指導件数は、対前年度比 44.4 %の 130 件(20 年度 293 件)であった。 今後は、内科が充実したことにより、指導を必要とする患者の増加が見込まれるため、患者さんの QOL を高めるための指導や相談事業等を積極的に実施したい。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題項目 14	患者さんとの人間関係を重視する取り組みの推進		所管部局	海部病院		
内 容	患者さん中心の医療の実践と患者さんの医療への主体的な参加支援を掲げ、平成17年度に制定した「患者の権利章典」については、より一層の患者さんへの周知と職員への浸透を図ります。 また、患者さんが納得して治療を受けるための「インフォームドコンセント（説明と同意）」を徹底し、誠意を持って説明に取り組むとともに、患者さんの不安解消や治療に関する自己決定を支援する「セカンドオピニオン相談」について、引き続き推進します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「患者の権利章典」の患者さんへのより一層の周知		実施	推進	推進	推進	推進
○「患者の権利章典」の職員への浸透		実施	推進	推進	推進	推進
○「インフォームドコンセント（説明と同意）」の徹底		実施	推進	推進	推進	推進
○「セカンドオピニオン相談」の推進		検討	検討	検討	実施	推進
平成21年度の 主な推進状況	「患者の権利章典」については、病棟及び外来の掲示板等への掲示により患者さんへの周知と職員への浸透を図った。また、病院のホームページへの掲載により、地域住民への周知にも努めた。 患者さんへの治療方針等の説明と同意については、誠意を持って説明に取り組んだ。 今後は、セカンドオピニオン相談の実施について検討したい。					
進行度の評価		B				

課題 15	病院ボランティアの充実	所管部局	海部病院			
内 容	病院ボランティアの受入については、既に実施している病院環境整備や案内だけでなく、傾聴ボランティア等にも拡大するとともに、ボランティア参加者からのご意見を参考に、参加しやすい環境づくりに取り組みます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○傾聴ボランティア等のボランティアの新規拡大		検討	検討	検討	実施	推進
○ボランティアに参加しやすい環境づくりへの取組		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年4月に開催したボランティア打合せ会において、ボランティアの方と意見交換をしたり、また、ボランティア保険加入等について説明し、参加しやすい環境づくりに努めた。 今後は、傾聴ボランティア等を受入れていくため、関係機関と協議をしていきたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 16	患者さんの視点に立ったサービスの提供	所管部局	海部病院			
内 容	職員一人一人が患者さんの視点に立った対応について一層の意識向上を図り、質の高いサービスを提供するために、患者満足度調査の毎年実施や、地域住民による定期的な病院見学の実施により改善に取り組みます。 また、外部講師による接客研修を実施し、全職種の接客能力の向上を図ります。さらに、診療・検査等の待ち時間については、待ち時間調査を実施し、短縮に向けた改善・工夫に努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○患者満足度調査の毎年実施 ○地域住民による定期的な病院見学の実施 ○外部講師による接客研修を実施 ○待ち時間調査の実施と短縮に向けた改善・工夫		実施 実施 実施 実施	実施 実施 推進 推進	実施 実施 推進 推進	実施 実施 推進 推進	実施 実施 推進 推進
平成 21 年度の 主な推進状況	平成 22 年 3 月初旬に外来満足度調査を実施し、要望のあった待ち時間の短縮等に対しては、予約枠の見直しや待ち時間表示などの改善を行った。 平成 21 年 11 月には、外部講師を招いて接客研修を行うとともに、日頃からより良い接客を心掛けるよう接客の 5 原則を個別に月間目標とするなど、接客能力の向上に取り組んだ。 今後も、患者さんの視点に立ったサービスの提供に努めていきたい。					
進行度の評価		B				

推進項目 17	治療効果を高め、満足していただける食事の提供	所管部局	海部病院			
内 容	管理栄養士と調理師が病棟を訪問して摂食状況を調査するなどにより患者さんの食事の状況を把握し、全部食べていただける食事の提供に努めます。 また、行事食や祝い膳の充実とともに季節感を感じていただける工夫を行い、おいしく食べていただけるよう努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○摂食状況の調査		実施	推進	推進	推進	推進
○行事食や祝い膳の充実		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	摂食状況の調査については、昼食時の病棟訪問を延べ740件実施、昼食後の個別残食調査を72回実施した。調査により、患者さんの食事の状況を把握し、個別対応することによって喫食率の向上に努めた。 行事食や祝い膳の充実については、郷土食や季節感を取り入れ、年間21回の行事食を実施したり、月2回の手作りおやつサービスも定着させた。 今後も、治療効果を高め、患者さんに満足していただける食事の提供に努めたい。					
進行度の評価		B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 18	三好病院及び海部病院における療養環境の充実	所管部局	海部病院			
内 容	三好病院及び海部病院においては、個室の改装や設備改修により快適性の向上を図るとともに、個室数の増加について検討します。 また、患者さんのプライバシーへの配慮や老朽化した施設・設備の修繕については、患者さんからの要望やアメニティ向上への効果を優先して実施します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○個室の改装や設備改修 ○個室数の増加 ○患者さんのプライバシーへの配慮 ○老朽化した施設・設備の修繕		実施 検討 実施 実施	推進 検討 推進 推進	推進 検討 推進 推進	推進 検討 推進 推進	推進 検討 推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	ギプス室での更衣時における患者さんのプライバシーへの配慮から、カーテンを設置した。 また、老朽化した個室のファンコイルを改修し、療養環境を改善した。 今後も、患者アンケートの実施等により、ニーズに応じた環境改善に努めていきたい。					
	進行度の評価	B				

課題項目 19	各種病院サービスにおける利便性の向上	所管部局	海部病院			
内 容	病院を利用される方の利便性の向上に向けて、サービスの導入や充実を検討します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○売店については、コンビニエンスストアの導入や、営業時間の延長・品揃えの充実を検討する		検討	検討	検討	検討	実施
○会計待ち時間短縮を図るための自動精算機の導入と診療費用のクレジットカードによる支払い、及びコンビニエンスストアでの支払いなどの実施について検討する		検討	検討	検討	検討	検討
平成21年度の 主な推進状況	入院・外来患者数の動向を踏まえ、今後、売店の営業時間や品揃えの充実、診療費用の支払い方法等について、検討していきたい。					
	進行度の評価	C				

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 20	県立病院の医療機能を最大限に発揮する、継ぎ目のない連携体制構築	所管部局	海部病院			
内 容	「地域の医療機関の機能分化と連携による、必要な医療を切れ目なく提供する体制の構築」を目ざし、県立病院と地域医療機関との連携をより一層強化します。 また、連携を促進するため、患者さんの治療開始から終了までの全体的な治療計画である「地域連携クリティカルパス」の運用を積極的に進めるとともに、広域でのパスの統一化に努めます。 さらに、医療・保健・福祉の領域を超えた連携をリードする地域医療連携部門のスタッフ（看護師・事務・MSW・PSW等の職種）を充実し、関係各機関との調整能力を高めます。　　〔目標項目〕					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○「地域連携クリティカルパス」の積極的運用		実施	推進	推進	推進	推進
○地域医療連携部門のスタッフの充実		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	「地域連携クリティカルパス」の運用については、対象病院（徳島赤十字病院）から脳卒中連携パスの患者を5名受け入れ、広域でのパスの統一化に努めた。 また、地域医療連携部門の充実については、平成21年11月から外来看護師1名を訪問看護担当として兼務配属し、地域連携業務の充実を図った。					
	進行度の評価	B				

課題 20-2	連携による在宅療養支援機能の発揮	所管部局	海部病院			
内 容	海部病院において、地域における在宅医療の充足状況や自宅での看取りに対するニーズを把握し、開業医や訪問看護ステーションとの連携を深め、診療・看護・ケアを支援します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○地域における在宅医療や自宅での看取りに対する診療・看護・ケアの支援		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	末期がん等の患者に対し、平成21年10月から訪問看護を、11月から訪問リハビリをそれぞれ開始し、地域支援に取り組んだ。(H21年度訪問看護実績83件、訪問リハビリ実績14件) 今後は、引き続き訪問看護、訪問リハビリを推進していくとともに、新たに訪問診療を開始し、地域の開業医や訪問看護ステーション等との連携体制の充実に努め、患者情報を共有化するなど、的確で効率的なサービスの提供に努めていきたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 21	医療の標準化に資するクリティカルパス（入院診療計画）の活用促進	所管部局	海部病院			
内 容	一定の症例について、院内の医療の標準化ツールとして院内で作成・適用しているクリティカルパスについても、院内多職種による連携を図りつつ、適用数の増加に努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○クリティカルパスの活用促進		検討	検討	実施	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	クリティカルパスの活用促進については、平成20年度以前に作成された糖尿病等のクリティカルパスがあるものの充分活用されなかった。 今後は、院内多職種による連携を図りつつ、適用数の増加に努めたい。					
	進行度の評価	B				

課題 22	医療安全文化の確立		所管部局	海部病院		
内 容	医療安全管理者（医師）を中心とした医療事故の発生の予防、発生した事故の影響拡大等の防止を確立し、県立病院における医療安全文化の醸成に努めます。 また、医療安全管理者（医師）に対する安全管理の業務を行うことを目的とした医療安全管理者研修会の受講機会を確保するとともに、院内での苦情や事故後の対応の際に、患者側との対話を円滑に行えるスキルの養成を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○医療安全文化の醸成に対する努力 ○医療安全管理者研修会の受講		実施 検討	推進 検討	推進 実施	推進 推進	推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	毎月開催している「ヒヤリハット報告会」において事例報告をし、ヒヤリハットの情報を蓄積・共有することによって、重大な事故の発生の防止に努めた。 また、医療事故発生時には、医療安全管理委員会において患者側との対応等について協議をし、慎重に対応した。 今後は、医療安全管理者に研修会の受講機会を確保するとともに、患者側との対話を円滑に行えるスキルの養成を図りたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題項目 23	病院機能評価の更新受審		所管部局	海部病院		
内 容	各病院の機能を第三者が多角的に評価する、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価については、既に全病院が受審し認定を受けておりますが、さらに新たな評価項目が加わった Ver. 6. 0 による再認定を受けるため、各病院が組織的に基準達成に向けた取り組みを行います。 〔目標項目〕→〔医療の透明性の確保〕					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○病院機能評価の更新受審 【平成 2 4 年度】		検討	検討	検討	実施	推進
平成 2 1 年度の 主な推進状況	病院機能評価認定推進委員会において平成 18 年度審査時の指摘事項等に関して、各部局での点検作業を依頼し、点検を行った。 今後は、病院機能評価認定推進委員会において現バージョンの推進、管理、見直しを行うとともに、新バージョンの情報を周知し、再認定を受けるため、組織的に基準達成に向けた取組みを行っていきたい。					
	進行度の評価	B				

課題 24	品質管理のための教育・研修の充実		所管部局	海部病院			
内 容	「医療は製品である」という認識の下、医療安全管理・院内感染対策等において安全・安心な医療を提供できるように、全体研修並びに個別研修を充実し、品質の保証に取り組みます。						
実 施 概 要			21	22	23	24	25
○全体研修並びに個別研修を充実			実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	医療安全については、毎月実施するヒヤリハット報告会のほか、年2回の全体研修会によりレベルアップに努めている。 感染管理の認定看護師研修に職員を派遣した。 今後は、研修参加者から職員全体への伝達講習会を実施することにより、職員全体のレベルアップを図り、よりよい病院を目指したい。						
	進行度の評価	B					

●医療の質の確保における進捗状況

課題 25	三好病院・海部病院での地域医療研修の実施		所管部局	海部病院			
内 容	地域に密着した医療を実践する場である三好病院及び海部病院と急性期機能を持つ中央病院が一体となった研修プログラムを策定し、地域医療の担い手の育成に努めます。 また、三好病院及び海部病院においては、今後も引き続き徳島大学と協力し、学生実習の受入や地域医療研究に積極的に貢献します。						
実 施 概 要			21	22	23	24	25
○学生実習の受入			実施	推進	推進	推進	推進
○地域医療研究への積極的な貢献			実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	学生実習の受入れについては、徳島大学の5年生が、当院を拠点とした地域医療実習を行った。 今後も引き続き徳島大学と協力し、学生実習の受入れや地域医療研究に貢献していきたい。						
	進行度の評価		B				

課題項目 31	質の高い看護の提供を目指した、キャリアラダーによる研修の実施		所管部局	海部病院			
内 容		看護師の意欲を高め、専門性を高めるために、卒後のキャリアに応じてレベルを高める、看護師キャリアラダーによる研修制度を確立します。					
実 施 概 要			2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○看護師キャリアラダーによる研修制度の確立			実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の主な推進状況		キャリアラダーによる研修制度に応じてステップアップできるように研修会を企画・実施した。また、衛生放送による研修会も行った。 院内研修はもとより、より専門専門性を高めるため、看護職員 60 名のうち院外研修に延べ 80 名を派遣した。(県内 50 名、県外 30 名) 今後は、多くの看護スタッフが参加できる研修会の開催方法の検討や評価方法の確立等を行い、質の高い看護ができるよう努力していきたい。					
		進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

推進項目 32	各職種の専門性を高める資格取得や研修受講の促進	所管部局	海部病院			
内 容	各県立病院がそれぞれの担うべき機能に応じ研修方針・研修計画を策定し、各種の資格取得を推進するとともに、取得後の技術・ノウハウ活用を図ります。 [目標項目]					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○資格取得を推進 認定看護師数 【平成25年度】 病院事業全体で12名		実施	推進	推進	推進	実現
○資格取得後の技術・ノウハウの活用		検討	実施	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	感染管理認定看護師の研修を1名が受講した。平成22年5月の認定試験に合格すれば感染管理認定看護師が誕生し、ICTの核となる活動が期待できる。今後は、糖尿病認定看護師の育成も引き続き行っていきたい。また、分娩再開に向けエキスパート助産師の育成や訪問看護充実のために訪問看護育成(訪問看護e・ラーニング、在宅ターミナル研修)にも取り組んでいきたい。					
	進行度の評価	B				

課題 33	県立病院学会の実施による知識の向上と共有		所管部局	海部病院		
内 容	各県立病院職員が一堂に会して日頃の研究成果を発表する「県立病院学会」を引き続き開催し、職員の相互交流と知識の向上・共有を図ります。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「県立病院学会」の開催		実施	実施	実施	実施	実施
平成21年度の 主な推進状況	平成22年2月に開催された「県立病院学会」に、当院からも多数の職員が参加した。 今後も引き続き、職員の相互交流と知識の向上・共有を図りたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の質の確保における進捗状況

課題 34	先進病院に対する派遣研修の実施	所管部局	海部病院			
内 容	県立病院の核となる医療機能の発揮に向けて、救急医療・がん医療などにおける先進病院への派遣研修を実施します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○先進病院への派遣研修の実施		検討	検討	検討	検討	実施
平成21年度の 主な推進状況	職員のスキルアップ、やる気の向上を図る手段として、効果があると認められるので、時期を見て実施したい。					
	進行度の評価	C				

課題 35	育児と仕事の両立支援	所管部局	海部病院			
内 容	育児短時間勤務制度の活用など、職員の育児と仕事の両立を図ることのできる環境整備に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○育児短時間勤務制度の活用等		検討	検討	検討	実施	推進
平成21年度の 主な推進状況	育児短時間勤務制度を活用した職員はいなかったが、現在育休中の職員が7名いる。その職員に対して制度の周知を図っていきたい。 また、平成21年4月より、厚生棟1Fを「おやさサポート事業」実施のため、牟岐町に使用許可をしており、この制度の利用についても職員に周知し、育児と仕事の両立支援を図っていきたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の透明性の確保における進捗状況

推進項目 1	D P C（診断群分類別包括評価制度）の導入による医療の透明性の向上	所管部局	海部病院			
内 容	D P Cの導入により明らかになるMDC（主要診断群）別の患者数の他，傷病・診療行為（手術・処置等）のデータを解析し，各病院の入院診療に係る実績として公開に取り組みます。【目標項目】					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
O D P Cの導入【平成 2 3 年度】 O D P C解析データの公開		実施 検討	推進 検討	推進 検討	推進 実施	推進 推進
平成 2 1 年度の 主な推進状況	平成 2 1 年 7 月に D P C を導入した。 今後は、D P C のデータを解析し、当院の入院診療の実績として公開に取り組みたい。					
	進行度の評価	B				

課題 2	県立病院の医療の質や提供状況がわかる臨床指標の公開（再掲）	所管部局	海部病院			
内 容	患者さんの選択に役立つことや税が投入された病院としての成果を示すため、がんの術後生存率、手術後の死亡率、疾病別手術件数、術後在院日数等、診療の結果や治療成績などの実績について、ホームページでの公開に取り組みます。 【目標項目】					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○臨床指標のホームページ公開 【各病院】平成 2 1 年度から実施		実施	推進	推進	推進	推進
平成 2 1 年度の 主な推進状況	科別手術件数、科別・地域別患者数、救急患者数、病類別病床利用率、地域別退院患者数、退院死亡率などの指標を新たにホームページで公開した。 今後は、疾病別手術件数や術後在院日数などの臨床指標の公開に取り組みたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の透明性の確保における進捗状況

課題 3	患者さんと一体となった医療を実践する「私のカルテ」の発行	所管部局	海部病院			
内 容	患者さんの理解を助け、また、他の医療機関受診時の診療情報の共有にも役立てていただくため、医師診療録・看護記録・検査結果などを「私のカルテ」として発行することに取り組めます。【目標項目】					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○「私のカルテ」の発行 【平成 2 2 年度】		実施	推進	推進	推進	推進
平成 2 1 年度の 主な推進状況	平成 22 年 3 月に、外来化学療法を実施している患者さんに対して「私のカルテ」を発行した。 今後は、訪問看護を行っている患者や自己管理が必要な糖尿病等の患者について取り組んでいきたい。					
	進行度の評価	B				

課題 4	病院事業経営内容の公開		所管部局	海部病院			
内 容	病院事業の決算内容や医療の質・透明性・効率性の向上に向けた取り組み内容について、今後も引き続き、ホームページを活用して積極的に公開します。						
実 施 概 要			21	22	23	24	25
○決算内容や取り組み内容についてのホームページ公開			実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	決算内容や診療内容、指標等についてホームページで公開した。 今後も引き続き、最新の情報を積極的に公開していきたい。						
	進行度の評価		B				

●医療の透明性の確保における進捗状況

課題 5	各県立病院毎の「住民参加会議」の開催	所管部局	海部病院			
内 容	医師の疲弊と離職を防ぐため、各病院で開催される経営戦略会議等に、地域住民によって設立された団体等の代表者が参加する「住民参加会議」を引き続き開催し、県立病院の現状を明らかにするとともに、地域医療を共に考え、共に支えていただけるような関係づくりを行います。 また、地域団体の研修会等に積極的に出向き、病院運営の現状を説明します。 〔目標項目〕					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○経営戦略会議への住民参加 【各病院】継続して実施		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	毎月開催している海部病院経営戦略会議に、地域住民によって設立された団体の代表者に参加していただいた。また、病院からは情報を提供し、また住民の方からの質問に答えたり意見交換を行うことにより、地域医療を共に考え共に支えていく関係づくりを行った。 今後は、地域団体の研修会や会合に出向き、病院運営の現状等を説明していきたい。					
	進行度の評価	B				

課題項目 6	県民公開講座及び院内健康教室の開催		所管部局	海部病院		
内 容	各病院それぞれの機能の特性に応じ、患者さんや住民の皆様を対象とした疾病・療養に関する「県民公開講座」並びに「院内健康教室」を開催します。 [目標項目]					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○「院内健康教室」の開催 【毎月2回】		実施	実施	実施	実施	実施
平成21年度の 主な推進状況	住民の皆様を対象とした「公開研修会」を6回、患者さんを対象とした「生活習慣病教室」を毎月4回開催した。 今後も、引き続き開催していきたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の透明性の確保における進捗状況

課題 7	病院広報の充実	所管部局	海部病院			
内 容	病院局及び各病院のホームページを充実し、患者さんには地域医療連携の重要性や必要性等、医療についてわかりやすく説明するとともに、病院の姿が実感できる、親しみやすい情報の提供に努めます。 また、他の医療機関、将来医療を志す方等に向けては、診療機能や臨床研修に関する情報提供を充実します。 さらに、各病院広報誌や各自治体広報誌を通じた情報提供も積極的に実施します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○ホームページの充実 ○各病院広報誌や各自治体広報誌を通じた 情報提供		実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	当院の「地域医療センター」の設置目的や業務内容等を載せ、地域医療連携の必要性等、医療についての情報提供に努めた。 また、年2回広報誌を発行し、海部郡内の住民に新聞折込により配布し、診療内容等の情報提供をした。 今後は、郡内の自治体広報誌等を通じた情報提供も行っていきたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 2	各病院の機能整備の動向に即した施設基準の取得	所管部局	海部病院			
内 容	計画期間における各病院が担うべき医療機能の整備動向に即した、診療報酬上の施設基準の取得を図るとともに、診療報酬改定への迅速な対応や、DPC（診断群分類別包括評価）における最適な請求など、適切な診療収益の確保に努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○診療報酬改定への迅速な対応		実施	推進	推進	推進	推進
平成 2 1 年度の 主な推進状況	平成 21 年 7 月に DPC を導入し、導入後は最適な請求など適切な診療収益の確保に努めた。また、施設基準の取得については、平成 21 年 8 月に外来化学療法加算 2 (1 日 420 点) を取得したほか、平成 22 年 4 月に新設された地域連携診療計画管理料などの届出を行った。 今後も、当院の機能整備の動向に即した施設基準の取得に努めていきたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 4	診療報酬請求漏れの防止	所管部局	海部病院			
内 容	各病院における総合医療情報システムの有効活用により、ヒューマン・エラーによる請求漏れを防止します。 また、各病院において院内各部門と医事委託業者から構成されるレセプト委員会を毎月開催し、診療報酬請求の精度向上を図ります。 なお、既に実施している中央病院に引き続き、三好病院及び海部病院においてもレセプトオンライン請求による効率的な請求を実施します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○総合医療情報システムの有効活用 ○毎月のレセプト委員会の開催 ○レセプトオンライン請求の実施		実施 実施 実施	推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進	推進 推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	総合医療情報システムを活用し、ヒューマンエラーによる請求漏れの防止に努めた。また、レセプト委員会を毎月開催し、診療報酬請求の精度向上を図ったとともに、レセプトオンライン請求を開始した。 今後も、引き続き実施していきたい。					
	進行度の評価	B				

推進項目 5	使用料・手数料設定の見直し	所管部局	海部病院			
内 容	各病院における使用料・手数料については、健全経営の確保を踏まえた原価を反映した上、周辺の公的医療機関との均衡等も勘案し、適切な料金設定を行います。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○適切な料金設定		検討	検討	検討	検討	実施
平成21年度の 主な推進状況	使用料・手数料は、原価を反映させるとともに、周辺の医療機関との均衡を勘案し、料金設定を行っている。 今後も、適切な料金であるかの検証を行っていきたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 7	後発医薬品の採用拡大	所管部局	海部病院			
内 容	後発医薬品の採用については、患者さんの負担軽減とともに、薬品費の削減に繋がるため、積極的に採用を増やします。 [目標項目]					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○後発医薬品購入額割合 【各病院】薬品購入額の10% 【平成25年度】		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度の後発医薬品購入割合は6.6%であるが、1名の高額医薬品(ノボセブン)使用患者の医薬品購入額(医薬品購入額の4割)を除くと10.8%で目標は達成している。 今後も、積極的に後発医薬品の採用に努めたい。					
	進行度の評価	B				

課題 8	委託契約・賃借契約における効率的な契約の実施		所管部局	海部病院		
内 容	各病院における委託契約・賃借契約については、委託業務内容・賃借契約内容と金額のバランスを検証し、効率性と品質管理の両面から見直しに努めます。 また、複数年の継続契約、一括委託契約（複数業務を集約した、包括的な委託契約）、3病院を統一した一括契約等についても、積極的に実施します。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○委託契約・賃借契約についての見直し ○複数年の継続契約、一括委託契約の実施 ○3病院を統一した一括契約等の実施		検討 実施 検討	検討 推進 推進	実施 推進 実施	推進 推進 推進	推進 推進 推進
平成21年度の 主な推進状況		機械警備については長期継続契約を行ってきたが、新たにカーテン・カーペットの賃貸借について、競争入札による長期継続契約を実施した。 今後は、業務内容の見直しや3病院統一した一括契約についても実施していきたい。				
		進行度の評価		B		

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 9	医療器械購入における競争入札の推進		所管部局	海部病院		
内 容	一般の医療器械については、今後も特別な理由があるものを除き、競争入札により購入します。 また、高額医療器械については、保守経費も含めた一般競争入札の他、総合評価一般競争入札の実施を検討し、総合的なコスト抑制や品質の確保を図ります。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○一般競争入札、総合評価一般競争入札の実施		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	医療器械の購入 5 件のうち 4 件について指名競争入札を実施した。また、高額医療器械(CT)は一般競争入札により購入した。 今後は、高額医療器械については保守経費も含めた一般競争入札を実施したい。					
	進行度の評価	B				

推進項目 10	ホテルサービス部門及び事務・管理業務等の委託化		所管部局	海部病院			
内 容	給食・清掃・洗濯等のホテルサービス部門については、職員の転出先にも配慮しつつ、外部委託に積極的に取り組みます。 また、検体検査業務、滅菌材料室、院内施設維持管理、一般事務等についても、引き続き外部委託に取り組みます。						
実 施 概 要			2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○ホテルサービス部門の外部委託 ○一般事務等の外部委託			検討 検討	検討 検討	検討 検討	検討 検討	実施 実施
平成21年度の 主な推進状況	ホテルサービス部門の外部委託については、清掃・洗濯業務は外部委託しているが、給食業務は直営で実施している。 今後、他の部門の外部委託化についても職員との協議踏まえ、検討していきたい。						
	進行度の評価		C				

●医療の効率性の確保における進捗状況

課題 11	未収金の発生防止と回収促進	所管部局	海部病院			
内 容	患者さんの診療費用については、24時間会計の実施や支払い相談の充実等により、未収金の発生防止に努めます。 また、未収金が発生した場合には、速やかに支払い督促を実施し、納入指導の徹底により、回収不能債権の発生防止に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○24時間会計の実施 ○支払い相談の充実 ○速やかな納入指導の徹底		検討 実施 実施	検討 推進 推進	検討 推進 推進	検討 推進 推進	実施 推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	医療費の支払いに関する相談等を実施するとともに、土、日等時間外の外來会計を実施することにより未収金発生防止に努めた。 未収金が発生した場合には、早期の督促状の発送や電話督促、次回外來受診時に督促をし回収に努めた。長期滞納者については、法的措置による回収を進めている。 今後は、24時間会計の実施について検討し、未収金の発生防止と回収債権発生防止に努めていきたい。					
	進行度の評価	B				

課題 12	業務改善の手段としての情報化の推進		所管部局	海部病院		
内 容	各病院で導入している電子カルテをはじめとする病院総合情報システムの使用にあたっては、能力を最大限に使用し、その効果である効率性の発揮に努めます。また、院内の情報化を組織的に推進するために、院長のリーダーシップの下、情報化委員会主導によるシステム整備と一元的管理に努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○病院総合情報システムの最大限の活用 ○情報化委員会主導によるシステム整備と一元的管理		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	総合医療情報システムは、平成16年度から稼働しており、患者データの一元管理により、待ち時間の短縮、データの分析等に威力を発揮している。導入後6年を経過し、システムの更新時期を迎えているが、システムの更新にあたっては、効率性を重視しつつ、可能な限り安価で安全に稼働できるよう、県立中央病院と共同のサーバを利用する方向で協議を行っている。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 14	経営戦略会議の充実		所管部局	海部病院		
内 容	本局及び各病院で開催している経営戦略会議について、病院局本局職員と各病院の幹部職員が、環境変化に迅速に対応し、戦略的な取り組みを議論する場として、また、各病院職員が経営問題を共有する場として引き続き実施し、内容を充実します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○経営戦略会議の内容の充実		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	前年度に引き続き、病院経営の戦略的な取組みを議論する場として、毎月、経営戦略会議を開催した。 今後も各部局が経営改善への取組み等についてプレゼン発表した上で、議論するなど、内容を充実していきたい。					
	進行度の評価	B				

課題項目 15	幹部職員の経営管理力の向上		所管部局	海部病院		
内 容	各病院における管理者会議で、各病院経営における重要案件を議論し、病院幹部職員が一丸となって経営に取り組みます。 また、各病院の幹部職員や中堅職員に対して、経営分析力や経営企画力を高める合同研修を実施し、マネジメントに長けた職員の育成に努めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○幹部職員や中堅職員に対する経営分析力や経営企画力を高める合同研修の実施		検討	検討	実施	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	管理者会議や運営会議において、必要な各種経営指標の周知の他、重要案件について協議し、幹部職員一丸となった経営に取り組んでいる。また、経営戦略会議では、経営指標等の説明を職員が毎回、交替で発表することとしており、発表に際しては、収入・支出の中身について詳しく知るよう心がけている。 今後は、幹部職員や中堅職員に対する研修の実施について検討していきたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 16	D P C（診断群分類別包括評価）データ活用による経営分析の実施		所管部局	海部病院		
内 容	D P Cの運用から得られる自院の診療データ及び厚生労働省から公表される統計データの分析を行い、医療の質の向上・コスト削減・経営戦略策定等に積極的に活用します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○診療データや統計データの分析、活用		検討	検討	実施	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	平成21年7月に導入したが、まだ日が浅く充分なデータ活用はできていない。 今後、診療データ及び統計データの分析を行い、医療の質の向上等に活用していきたい。					
	進行度の評価	B				

課題 17	目標設定とPDCAサイクルによる進行管理の推進	所管部局	海部病院			
内 容	各課・各診療科・各部門等において明確に目標を設定し、PDCAサイクルによる進行管理に努めるとともに、QC（クオリティ・コントロール：品質管理）活動やBSC（バランス・スコアカード：多元的な業績評価システム）の浸透を図ります。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○各課・各診療科・各部門等における目標設定		実施	推進	推進	推進	推進
○PDCAサイクルによる進行管理		実施	推進	推進	推進	推進
○QC活動やBSCの浸透		検討	検討	実施	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	年度当初に、各部門において、医療の質、透明性、効率性それぞれについて目標を設定し、年度末に総括を行った。 今後も、PDCAサイクルによる進行管理に努めるとともに、QC活動やBSCの浸透を図っていきたい。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 18	全部門による実績報告・目標発表会の実施		所管部局	海部病院		
内 容	職員の任用形態や委託職員の区別無く、病院内の全ての職員の一体感の醸成と経営認識の向上を図るために、前年度の実績報告と当年度の課題・目標について院内で発表する「実績報告・目標発表会」を行います。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○「実績報告・目標発表会」の実施		実施	推進	推進	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	毎月開催している「やってる会」において、各部門が前年度の実績や当年度の目標等について発表した。 今後も、職員の一体感の醸成と経営認識の向上を図るため、引き続き実施していきたい。					
	進行度の評価	B				

課題 19	堅実な危機管理体制の構築	所管部局	海部病院			
内 容	各病院職員が救急勉強会、ACLS、BLS、AED講習会等救急に関する研修を定期的に行い、スキルアップを図ることにより、院内での急変時の対応や災害発生時の患者受け入れ体制を強化します。 また、災害拠点病院である各病院においては、大規模災害や新型インフルエンザ等の災害事象発生を想定した実践的な訓練や研修実施に取り組むとともに、災害対策マニュアルの改訂を行います。 さらに、病院局全体が組織的に迅速な行動が実施できるよう、各病院と病院局本局との連携体制の堅持に努めます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○救急に関する研修会の実施		実施	実施	実施	実施	実施
○災害事象発生を想定した実践的な訓練や研修の実施		実施	実施	実施	実施	実施
○災害対策マニュアルの改訂		検討	検討	実施	推進	推進
○各病院と病院局本局との連携体制の堅持		検討 推進	検討 推進	実施 推進	推進 推進	推進 推進
平成21年度 主な推進状況	平成21年9月1日に地震津波防災訓練を、12月10日には防災訓練を実施した。また、DMAT 技能維持訓練に2名、南部圏域防災訓練に2名、国民保護共同実働訓練に4名が参加した。 今後も、訓練や研修を実施し、堅実な危機管理体制を構築したい。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

推進項目 21	3 病院の診療面の連携・協調	所管部局	海部病院			
内 容	これまでも、三好病院及び海部病院における常勤医師不足に対して、「県立病院は三つでひとつ」の考えの下、中央病院の医師等による、応援診療・電子化された撮影画像の読影・病理検査などの支援を行ってきました。 今後も、三好病院及び海部病院における医師不足が解消されるまでの間は、同様の支援を実施するとともに、中央病院における救急機能の強化に併せて、三好病院及び海部病院で対応できない救急患者の診療連携に取り組みます。 また、中央病院で高次の治療を行ったがん患者について、より自宅近くで療養できる場合に、三好病院及び海部病院での受け入れを進めます。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○中央病院の支援 ○3病院の連携		実施 実施	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進
平成21年度の 主な推進状況	医師不足に対応するため、中央病院から外来診療のみならず、救急、入院診療に対応した医師の支援をいただいた。 がん患者等についても、呼吸器外科を月1回実施し、中央病院で手術を行った患者のアフターフォローを海部病院で行えるような体制をとっている。 22 年度以降においても、今まで以上に 3 病院間での協力体制が構築できるものと考えている。					
	進行度の評価	B				

課題 22	資産等購入における共同化の拡充	所管部局	海部病院			
内 容	各種の器械・材料・消耗品等の購入については、今後も引き続き共同化のメリットを追求し、効率化に努めます。 なお、総合メディカルゾーンの機能連携の一つとして、徳島大学病院との医薬品及び医療材料の共同購入について検討します。					
実 施 概 要		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
○高額医療器械（同種器械の一括入札推進、同一メーカー器械の一括入札検討）		検討	検討	実施	推進	推進
○医薬品		実施	推進	推進	推進	推進
○医療材料（使用品目の絞り込みと共同購入対象品目数の拡大）		実施	推進	推進	推進	推進
○その他（主要給食材料・消耗品・燃料等）		検討	検討	実施	推進	推進
平成21年度の 主な推進状況	薬品で約 2,200 品目、診療材料で約 40 品目について共同購入を実施している。 今後は、高額医療器械や消耗品、燃料等についても購入の共同化を図るとともに、購入品目数の増加を検討したい。					
	進行度の評価	B				

●医療の効率性の確保における進捗状況

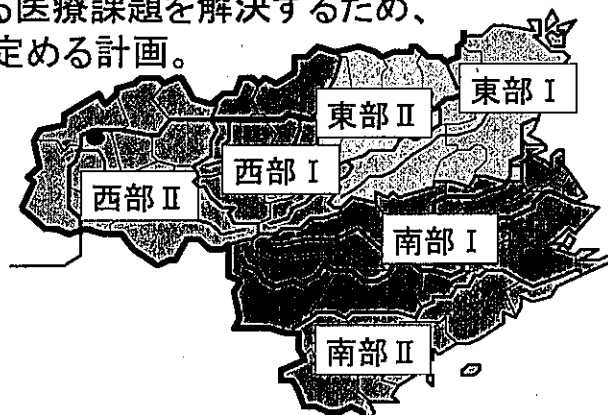
課題 23	経営指標	所管部局			海部病院	
内 容	経営指標のうち経常収支比率・職員給与費対医業収益比率・病床利用率（精神病床を除く）については、公立病院改革ガイドラインの規定により平成23年度を目標値として取り組みます。					
実 施 概 要		21	22	23	24	25
○経常収支比率 97.3%		達成	推進	推進	推進	推進
○病床利用率（精神病床を除く）70.0%		推進	推進	達成	推進	推進
○職員給与費対医業収益比率70.6%		推進	推進	達成	推進	推進
【平成23年度】						
平成21年度の 主な推進状況	平成21年度の経常収支比率は97.9%、職員給与費対医業収益比率は68.1%で目標値をクリアしたが、病床利用率は54.8%で目標値よりかなり低い数値であった。 今後は、内科医師と産婦人科医師の充実により患者の増加が見込まれるため、病床利用率の向上に努めるとともに、医業収益の確保と材料費・経費の削減に努め、目標値をクリアしていきたい。					
	進行度の評価	B				

徳島県地域医療再生計画における 県立病院事業

地域医療再生計画の概要

地域医療再生計画とは

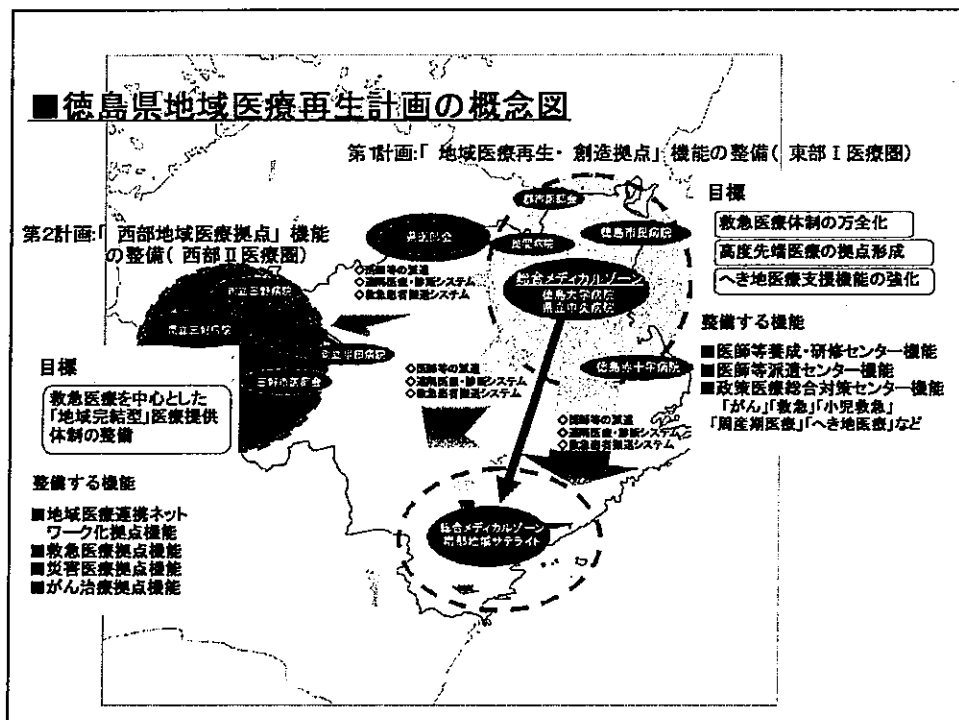
「二次医療圏」単位での、「医療機能の強化」
「医師の確保等の取組み」など
地域における医療課題を解決するため、
都道府県が定める計画。

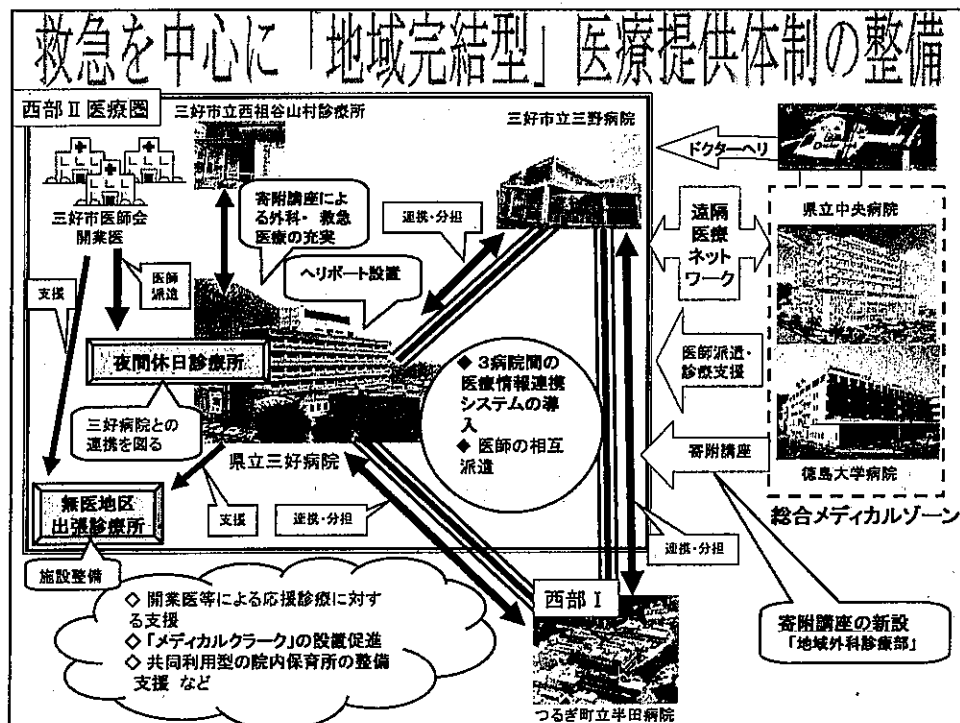
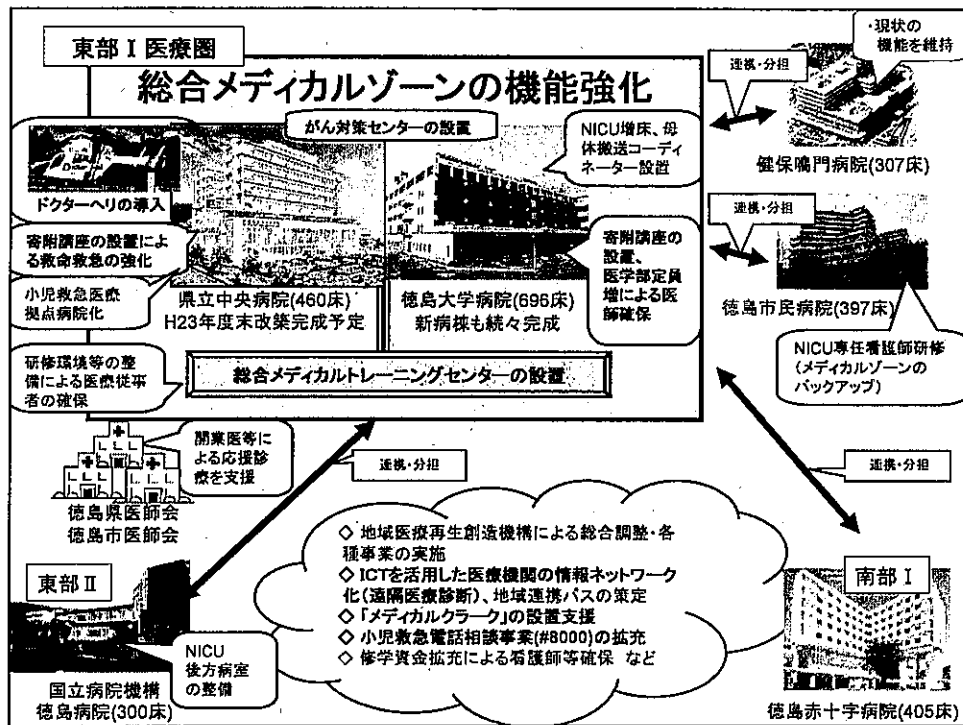


地域医療再生計画の概要

地域医療再生計画の基本的な枠組み

1. 計画期間:平成21年度～平成25年度
計画策定スケジュールから、実質的には平成22年度～平成25年度
2. 計画規模:25億円規模⇒全国で94医療圏(各県2圏域)
計画に基づく事業の実施に要する経費が国から県に一括交付され、県はこの交付金を基金に積み立てる
3. 計画対象地域:単体の二次医療圏を原則
 - ・対象地域を広げる合理性があれば、複数の二次医療圏を対象とすることも可
 - ・医師確保事業など、二次医療圏単位より、県域全体で実施した方が効率的な事業は、県域全体を対象とすることも可
4. 計画対象事業:
 - ・事業実施主体...県、市町村、民間事業者等
 - ・対象事業...ハード(施設・設備整備)、ソフト(事業運営)ともに可





県立病院に関連する事業

1. 寄付講座

- 徳大 → 中央病院 (ER・災害医療診療部)
- 三好病院 (地域外科診療部)
- 海部病院 (総合医学・地域医療学分野、地域産婦人科診療部)

2. 小児医療支援センター

- 徳大 → 中央病院

3. ドクターヘリの運航(総合メディカルゾーン)

4. がん対策センター(総合メディカルゾーン)

5. 総合メディカル・トレーニングセンター(総合メディカルゾーン)

6. 精神科救急医療体制整備事業(中央病院)

7. 地域医療研究センター(海部病院)

8. 救急医療機能整備(三好病院)

9. がん診療連携地域センター(三好病院)

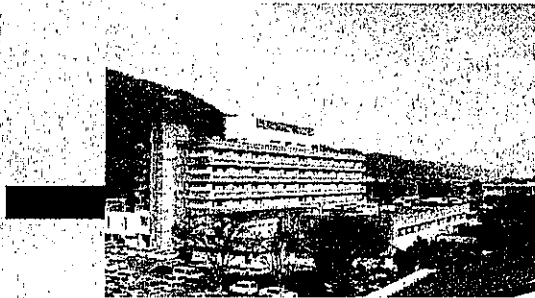
10. 公立3病院総合医療情報連携システム(三好病院等)

今後、徳島県病院局第二次経営健全化計画の中での位置づけを検討する

ご静聴ありがとうございました



徳島県立三好病院高層棟の改築



三好病院高層棟改築の概要

1 現況

- ・低層棟(外来・管理棟)、高層棟(入院病棟)は新耐震基準を満たしていない。
- ・県地震防災行動計画に平成27年度末までに耐震化率100%の目標を設定

2 調査の実施

- ・H20,H21年度に耐震化改修工法等について調査を実施

耐震化に向けての一定の結論が見出せない状況

- ・低層棟は、耐震補強工事が可能
- ・高層棟は、技術的には改修が可能。多額の改修費用を要することに加え、病院入院機能への影響など多くの課題があることが判明

3 地域医療再生基金等の活用

- ・地域医療再生計画への三好病院の「救急医療機能の充実・強化」の位置づけ
- ・医療施設耐震化交付金の充当の可能性が出てきたこと

高層棟の改築

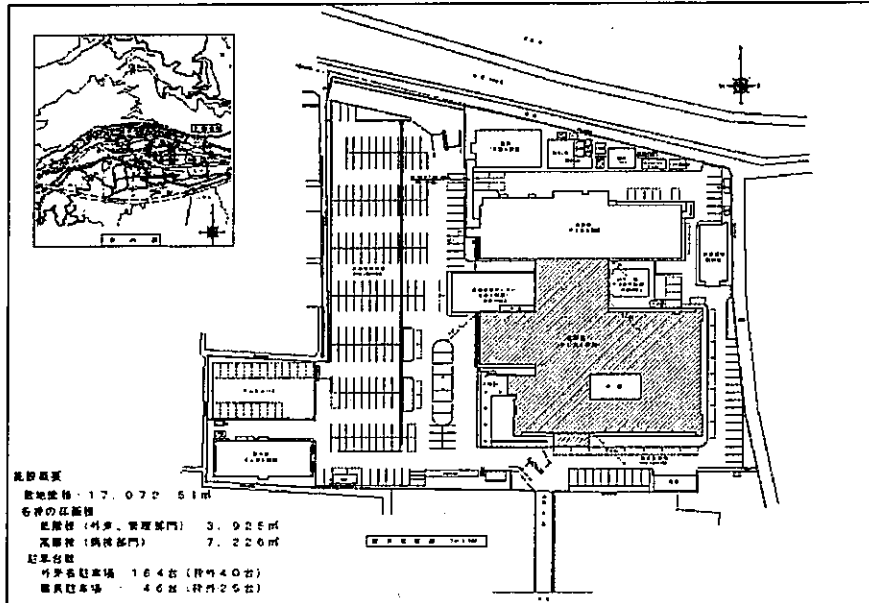
4 事業費等

- ・建設事業費は60億円～65億円(うち交付金が約30億円)
- ・平成25年度中の完成を目指す

5 今後の予定

- ・第1回徳島県三好病院整備方針検討委員会の開催(7月26日)
- ・改築に係る基本・実施設計予算案の9月議会への提出

三好病院現況図



高層棟改築のスケジュール(案)

項 目	H22		H23		H24		H25		H26	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
全体工程表	高層棟改築事業									
	低層棟耐震補強事業									
◆高層棟改築事業										
・基本構想	●	●								
・基本・実施設計			●	●						
・改築工事					●	●	●	●		
・解体工事									●	●
・外構工事									●	●
◆低層棟耐震補強事業										
・実施設計	●	●	●	●						
・耐震補強工事					●	●				

※上記工程表については、県議会日程等の要素により変動する可能性がある。

徳島県立三好病院整備方針検討委員会

1 設置目的

徳島県立三好病院を改築するに当たり、三好病院の今後のあり方や新たな医療機能などについて、必要な提言や意見交換等を行う。

2 運営方法

三好病院のあり方や担うべき医療機能などについて、各委員がそれぞれの立場から意見や提言等を行い、「整備方針」に反映する。

3 検討委員会の構成

医療関係者、住民代表者、行政関係者等のうちから、病院事業管理者が委嘱した8名の委員によって構成する。

4 今後の予定

8月末までに「整備方針」の中間取りまとめを行い、県民など意見も聞きながら、10月に「整備方針」を策定する。